嘉麻市教育委員会 点検·評価報告書

(平成27年度事業分)



華文刺縫陣羽織(豊臣秀吉公より拝領の品)



平和の火 (広島原爆の火)



木造白衣観音坐像



山野の石像群

平成28年8月

嘉麻市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び嘉麻市教育基本条例第7条の規定に基づき、平成27年度の教育委員会の点検及び評価を行いましたことを報告します。

嘉麻市教育委員会委員名簿

平成28年8月現在

職名	氏 名	任 期
委 員 長	豊福 眸子	平成26年 7月 4日~平成30年 7月 3日
委員長職務代理者	佐竹 正利	平成25年 7月 4日~平成29年 7月 3日
委 員	辻田 喜美	平成28年 8月29日~平成32年 8月28日
委 員	犬丸 隆行	平成27年 7月 4日~平成31年 7月 3日
教 育 長	木本 寛昭	平成26年11月 9日~平成30年11月 8日

目次

1.	教育委員	.会点検 ·	評価の	概要に	つい	て・						• •	1
(1)	はじめに											•	1
(2)	点検・評	価の導入の)目的・・										1
(3)	点検・評	価する対象	?•••										1
(4)	点検・評	価の方法・											1
(5)	結果の取	扱い・・・											2
(6)	嘉麻市教	育行政の基	基本理念 •										2
(7)	嘉麻市教	育振興基本	・・画信										2
「第	3次嘉麻市	教育アク	ションプ	ラン(平成 2	7年原	变~平	成29	9年度)]			
2.	教育委員	会の取組	1									•	3
(1)	平成27	年度教育委	美員会実 が	1大況									3
(2)	平成27	年度教育委	美員会の会	≩議にま	3ける3	主な議	案∙						3
(3)	平成27	年度教育委	美員会の会	≩議にお	sけるt	劦議▪							4
(4)	平成27	年度教育委	奏員会の会	≩議にま	さける	報告・							4
3.	各種学校	調査の網	黒・・										6
4.	事業別評	価結果											9
〇重	要課題1	少人数指	導等によ	る学力	向上・								13
〇重	要課題2	個性又は	能力を育	成する	学校教	育のき	充実・						18
〇重	要課題3	豊かな人	間性及び	志をも	ってた	くまり	しく生	きるス	りを培	う教育	の推進	<u>É</u>	37
〇重	要課題4	生涯学習	の実現を	目指す	社会教	育の打	生進・					•	53
○重	要課題5	体力及び	運動能力	向上の	推進・								66
○重	要課題6	人権尊重	精神を育	成する	教育の	推進							72
〇重	要課題7	市民文化	の創造・										76
5.	全体評価	i結果 ·											83
《資	【料》••												87
• 嘉	麻市教育	委員会点	検評価!	実施要	[綱 •								88
• <u>ग</u>	☑成28年	度喜麻市	数	昌숙년	i給誣	価委員	马 夕領	音. .					90

1. 教育委員会点検・評価の概要について

(1) はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)の一部改正及び嘉麻市教育基本条例の制定により、平成20年4月から、嘉麻市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

(2) 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政 に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行 政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があり、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

(3) 点検・評価する対象

第3次嘉麻市教育アクションプラン(平成27年度~平成29年度嘉麻市教育振興基本計画)の事業を対象とします。

(4) 点検・評価の方法

事業ごとに、目標達成度の観点から自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

第三者評価については、教育委員や現場教員・事務局職員等ではない人で、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる人を想定し、議会、PTA連合会、社会教育委員、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会、スポーツ推進委員、文化財保護審議会より推薦を頂いた方に依頼し評価していただきました。

(点検・評価の流れ)

- ① 教育委員会事務局(担当課)においてその所管する事務事業等を自己評価
- ② 自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員を設置し、自己評価に対しての評価
- ③ 教育委員会は評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な 点検評価
- ④ 議会へ報告
- ⑤ 議会報告後、速やかにホームページ等で一般公表

(5) 結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに4段階【A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要】で評価し、評価の高い事業については、引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に事業の見直しについて検討していく予定です。

(6) 嘉麻市教育行政の基本理念

嘉麻市教育委員会では、嘉麻市教育基本条例第2条の基本理念に基づき、嘉麻 市教育行政を実施していきます。

嘉麻市教育基本条例(抜粋)

(基本理念)

第2条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な市民の育成を期して行われなければならない。

- 2 市民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
- 3 家庭、地域住民及び市は、前2項に定める基本理念の実現に努めるものとする。

(7) 嘉麻市教育振興基本計画

「第3次嘉麻市教育アクションプラン (平成27年度 ~ 平成29年度)」

嘉麻市教育委員会では、教育行政の基本理念に基づき、嘉麻市における教育振 興のための施策に関し、基本的な事項を定めた「第3次嘉麻市教育アクションプ ラン」を策定しています。

本市教育委員会は、学校教育、社会教育、文化・芸術の各分野について、7つの教育施策を柱とし、その実現に向けて施策を推進しました。

- 1. 少人数指導(1学級を30人以下の児童又は生徒で編成する等の指導形態をいう。)等による学力向上
- 2. 個性又は能力を育成する学校教育の充実
- 3. 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
- 4. 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進
- 5. 体力及び運動能力向上の推進
- 6. 人権尊重精神を育成する教育の推進
- 7. 市民文化の創造

この7つの施策に基づく事業を対象とし、点検・評価を実施しました。

* 第3次嘉麻市教育アクションプラン(平成27年度~平成29年度 嘉麻市教育振興基本計画) は以下のホームページにてご覧いただけます。

「嘉麻市教育アクションプラン」

http://www.city.kama.lg.jp・・・嘉麻を知る→嘉麻市教育委員会→教育総務係

2. 教育委員会の取組

(1) 平成27年度教育委員会実施状況

教育委員会は教育長を含む5名の委員で構成され、会議の実施については、原則、 定例会が毎月1回、また、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項 等を適時適切に慎重に審議しています。教育委員会は嘉麻市教育委員会定例学校訪問 実施要項に基づき年次計画で定例学校訪問を実施しています。小中学校を訪問するこ とで、学校教育現場の状況を確認することができ、教育委員の立場から要望など意見 を述べました。

◆平成27年度教育委員会開催実績

・定例会 12回

臨時会 3回 計 15回

◆平成27年度嘉麻市教育委員会学校訪問の実施状況

〇定例学校訪問(3校)

嘉麻市教育委員会が各学校における学校経営の諸課題を把握するとともに、改善に向けた方向性について協議及び所要の指導・支援を行うことにより学校力を向上させる取組みです。

実施日: 平成27年10月 8日(木) 学校名: 稲築中学校

平成27年11月 2日(月) 学校名: 山田中学校 平成27年11月13日(金) 学校名: 牛隈小学校

(2) 平成27年度教育委員会の会議における主な議案

番号	議案	開催日
1	全国学力・学習状況調査の結果の公表について	5/15
2	嘉麻市学校評議員の委嘱について	6/2
3	嘉麻市学校関係者評価委員の委嘱について	6/2
4	嘉麻市教育委員会委員長の選任について	7/3
5	嘉麻市教育委員会委員長職務代理者の選任について	7/3
6	平成28年度使用中学校教科用図書の採択について	8/4
7	嘉麻市教育委員会点検・評価報告(平成26年度事業分)について	8/20
8	嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会条例施行規則について	8/20
9	嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会委員の委嘱について	11/2
10	嘉麻市公の施設に係る指定管理者の候補者の選定について	11/2
11	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の解任について	11/26

12	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の公募について	2/2
13	稲築多目的運動広場及び嘉麻市稲築スポーツプラザの用途廃止について	2/2
14	嘉麻市教育委員会防犯カメラの管理及び運用に関する規則の一部を改正する規則 ついて	2/2
15	嘉麻市奨学資金条例施行規則の一部を改正する規則について	3/1
16	嘉麻市スポーツ推進委員の解任について	3/25
17	嘉麻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	3/25

(3) 平成27年度教育委員会の会議における協議

番号	協議	開催日
1	「2015年 非核と平和のつどい」後援依頼について	11/2
2	嘉麻市いじめ防止基本方針(案)について	3/25

(4) 平成27年度教育委員会の会議における報告

番号	報 告	開催日
1	嘉麻市中学生海外派遣事業実施規程を廃止する告示について	4/1
2	嘉麻市北九州朝鮮初級学校等就学奨励補助金交付規程を廃止する告示について	4/1
3	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	4/1
4	嘉麻市奨学資金貸付審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	5/15
5	嘉麻市スポーツ推進委員の委嘱に関する臨時代理について	5/15
6	嘉麻市奨学資金貸付審議会の諮問(答申)に関する臨時代理について	5/15
7	嘉麻市土曜未来塾支援連絡会議設置要綱について	5/15
8	嘉穂小学校通学自動車目的外使用に関する要綱について	5/15
9	嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱の一部改正について	5/15
10	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	5/15
11	学力向上推進プロジェクト事業スケジュールについて	6/2
12	嘉麻市通学路安全推進会議設置要綱について	6/2
13	嘉麻市教育委員会不祥事防止対策検討委員会設置要綱について	6/2
14	第2次嘉麻市学校施設整備基本計画検討会議設置要綱について	6/2
15	平成27年6月議会上程議案等について	6/2
16	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	6/2

17	嘉麻市就学援助費交付認定規程の一部を改正する告示について	7/3
18	嘉麻市特別支援教育就学奨励費交付認定規程の一部を改正する告示について	7/3
19	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	7/3
20	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	7/3
21	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	8/4
22	平成27年9月議会上程議案について	8/20
23	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	9/2
24	嘉麻市公の施設指定管理者審査委員会の諮問に関する臨時代理について	10/6
25	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	10/6
26	平成27年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について	11/2
27	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	11/2
28	平成27年12月議会上程議案について	12/1
29	平成27年度全国学力・学習状況調査結果について	12/1
30	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	12/1
31	嘉麻市就学援助費交付認定規程の一部を改正する告示について	1/5
32	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	1/5
33	嘉麻市学校給食運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	2/2
34	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	2/2
35	嘉麻市立小中学校英語教育語学指導員派遣業務契約に関する競技審査会設置要 綱の一部を改正する要綱ついて	2/2
36	第3次嘉麻市行政改革実施計画(案)について	2/2
37	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	2/2
38	平成28年3月議会上程議案について	3/1
39	嘉麻市立小中学校英語教育語学指導業務委託契約に関する競技審査会設置要綱及び嘉麻市立小中学校英語教育語学指導員派遣業務契約に関する競技審査会設置要綱を廃止する要綱について	3/1
40	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	3/1
41	嘉麻市情報教育推進協議会設置要綱について	3/25
42	平成28年度教職員の人事(内示)について	3/25

3. 各種学校調査の結果

まず、嘉麻市内各小中学校における、少人数指導特別教員、特別支援学級介助員・支援員等の配置状況をまとめました。平成26年度と比べ、少人数指導特別教員の配置については9名減員、特別支援学級介助員、支援員及び特別支援教育補助教員は2名増員となりました。少人数指導特別教員の減員は、児童生徒の減少によるものです。

今後も学習支援の環境の充実と個に応じた適切な支援を図って行きます。

〇小中学校(全13校)における、特別支援学級介助員等の配置数

NO	点検·評価項目	内 容	H2 6	H2 7
1	少人数指導特別教員の配 置	少人数授業の指導を行うために市費で雇用	26 名	17名
2	特別支援学級介助員・特 別支援学級支援員の配置	肢体不自由な児童生徒の介助や特別支援学級 に在籍する児童生徒の支援を行うために市費 で雇用	16 名	19 名
3	特別支援教育補助教員の 配置	普通学級に在籍している特別支援の必要な児 童生徒の指導等を行うために市費で雇用	17名	16名

次に示すのは、各小中学校で行われた、教育課程実施状況及び教育課程編成状況調査結果 (No. 1~No. 4) 全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果 (No. 5~No. 9) を集計し、学校の取組み、児童生徒の学習状況等について、平成26年度から平成27年度を併記して比較したものです。

各小中学校の教育課程実施状況等の結果(No.1~No.4)からは、学習の場の設定と指導方法の工夫が積極的に図られていることが伺えます。具体的には、「基礎基本の定着を図る学習」や、学習した内容の未消化部分をなくすための「補充学習」が全ての学校において実施されています。また、「発展学習」にも 1 校を除く全ての学校が取り組んでおり、身につけた基礎的な知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力を育てる学習が実施できているものととらえます。さらに、「きめ細かな指導の実施」についても全ての学校で実施され、学習のねらいに応じて分割授業やティームティーチングが選択されていることが読み取れます。

次に、全国学力・学習状況調査における児童と質問紙の結果(NO.5~NO.9)では、「食習慣の安定」については、昨年度、数値が下降していた小学校において県平均を超え、全国と並ぶまでに回復しています。中学校では昨年度と同様であり、小学校と比較しても低下していることから、自分の食生活を見つめ改善しようとする食に関する指導や保護者啓発の継続が必要です。また、「自己肯定感」については、小・中学校ともに昨年度より上昇しており、「わかる、できる授業」の取組みの成果が見られます。

「家庭での学習習慣」は改善が図られており、各学校の取組みの成果が現れてきました。 そして、近年の児童生徒を取り巻く状況が大きく変化している中、携帯電話・スマートフォンの所持率及び使用時間が急増するとともに、活字離れの傾向も強く、平日に読書を全 くしない児童生徒の割合も増えてきています。このことについては、新たな教育指導の充 実を図って行くことが急務です。

以上のような調査結果から、学習支援環境充実のための人的配置の継続及び効果的な活用と児童生徒に実態に応じたきめ細かな指導を今後も強化していくことが肝要であると考えます。

○小学校 8校 *学校・児童質問紙から ()は平成27年度の国・県の平均値

NO	点検·評価項目	内 容	H2 6	H2 7
1	基礎基本の定着	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	7校	8校
2	補充学習の指導	教育課程内への位置づけを行っている学校	8校	8校
3	発展学習の指導	教科学習の時間に発展的な学習を行っている 学校	8校	8校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導(ティームティーチングを含む) を行った学校	8校	8校
	内訳:分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	7校	7校
	内訳:非分割授業	学習集団を分けずに、ティームティーチング による授業を行った学校	7校	7校
5	食習慣の安定	朝食を毎日食べている児童 (国95.6%、県93.6%)	91. 7%	95. 4%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う児童 (国76.4%、県75.1%)	68. 1%	74. 2%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている児童 (国96.8%、県96.1%)	93. 7%	96. 7%
8	携帯電話等の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 (国58.0%、県60.3%)	56.8%	62. 9%
9	読書の習慣	家や図書館で全く読書をしない児童 (国 19.9%、県22.0%)	28. 2%	20. 9%

〇中学校 5校

()は平成27年度の国・県の平均値

NO	点検·評価項目	内 容	H2 6	H2 7
1	基礎基本の定着	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	4校	5校
2	補充学習の指導	教育課程内への位置づけを行っている学校	5校	5校
3	発展学習の指導	教科学習の時間に発展的な学習を行っている 学校	5校	4校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導(ティームティーチングを含む) を行った学校	5校	5校
	内訳:分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	3校	3校
	内訳:非分割授業	学習集団を分けずに、ティームティーチング による授業を行った学校	5校	5 校

5	食習慣の安定	朝食を毎日食べている生徒 (国 93.5%、県 92.1%)	89. 0%	88. 7%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う生徒 (国 68.1%、県 66.1%)	63. 2%	64. 0%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている生徒 (国 89.3%、県 89.6%)	86. 1%	83. 5%
8	携帯電話等の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている生徒 (国 78.6%、県 79.8%)	76. 8%	81. 7%
9	読書の習慣	家や図書館で全く読書をしない生徒 (国 35.0%、県 38.1%)	39. 7%	38. 1%

4. 事業別評価結果

〇重要課題1 少人数指導等による学力向上

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
	1	少人数指導推進事業	0			
	2	学校提案型学力向上事業		0		
(1)確かな学力向上のための取組みの 推進	3	研究指定校補助事業	0			
	4	学力検証事業	0			
	5	嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業	0			

○重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
(1)子どものニーズに応じる教育の充	6	特別支援教育総合推進事業	\bigcirc			
実	7	補助教員配置事業	\bigcirc			
	8	英語コミュニケーション能力の育成事業		0		
(2)社会の変化に対応する教育の充実	9	情報教育推進事業	\bigcirc			
2/社会の変化に対応する教育の元夫	10	情報教育施設整備事業	\bigcirc			
	11	持続可能な社会を実現する環境教育の推進		\circ		
(3)信頼される教員の確保と研修の充		嘉麻市教育センター研修推進事業	\circ			
実 	13	教職員人事配置事業		\circ		
(4)安心して学べる学校づくりの推進	14	学校防犯体制整備事業	\circ			
(対文化)と子 での子(人)の)に定	15	通学対策事業	\circ			
	16	学校施設維持管理業務事業	\circ			
(5)学校施設整備の推進	17	大隈城山校維持管理事業	\circ			
	18	大規模改造工事事業	\circ			
(6)地域に開かれた学校づくりの推進	19	学校関係者評価事業		\bigcirc		
の地域に開かれた一般の	20	学校開放事務事業	\circ			
(7)小中連携教育への取組み	21	小中連携教育等基本方針作成事業		\circ		
(//小千连场农用、0/坎旭07	22	小中連携·一貫教育研究事業		0		
(8)教育の機会均等の促進	23	就学援助事業	0			
(0/水円の)放立の可の促進	24	奨学金事業		0		

○重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
	25	道徳教育推進事業		0		
(1)道徳性と自立心を養う心の教育の 充実	26	キャリア教育推進事業	0			
	27	ボランティア活動推進事業		0		
	28	学校保健事業		\circ		
(2)健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実	29	学校給食運営事業	0			
(O)中原 444 尚拉广约1.7元李字还到	30	学校給食費算定及び収納事業	\circ			
(3)家庭・地域・学校における読書活動推進	31	読書活動推進事業	\circ			
	32	適応指導教室(れすとぴあ)推進事業	0			
(4)いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実	33	教育相談推進事業	0			
	34	学校支援相談員配置事業	\circ			
	35	地域教育資源活用事業		\bigcirc		
(5)家庭・地域の教育力を高める支援	36	学社連携融合事業		\bigcirc		
体制の充実	37	家庭教育支援事業	0			
	38	青少年健全育成事業		0		
(6)男女共同参画教育の推進	39	学校における男女共同参画推進事業		\circ		
(0)男女共同変画教育の推進	40	地域社会における男女共同参画推進事業	0			

○重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
(1)生涯学習関係機関、団体との連	41	社会教育関係団体等育成事業		0		
携・協力体制の整備	42	社会教育関係団体活性化補助事業		\circ		
	43	社会教育施設整備事業		0		
	44	ボランティア人材バンク事業		0		
	45	生涯学習推進事業	0			
(2)学習機会の提供及び学習成果の	46	青少年体験活動推進事業	0			
活用促進	47	公民館・分館等の連携強化推進事業		\bigcirc		
	48	分館及び自治公民館等活動費補助事業		\circ		
	49	コミュニティ活動支援事業		0		
	50	公民館事業		0		

	51	図書館施設管理運営事業	0		
(3)図書館の利用促進	52	読書活動推進事業	\circ		
	53	図書館ボランティア養成事業	0		

〇重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
(1)スポーツによる地域の活性化 54 スポーツコミュニティ創造事業 55 スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業		0				
		スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業	0			
(2)スポーツ環境の整備		スポーツ環境創成事業		0		
(2)スパーノ環境の金舗	57	社会体育施設管理運営事業	0			
(3)生涯スポーツの推進	58	プロジェクトK事業	0			
(4)競技スポーツの推進	59	競技スポーツ推進事業	0			

○重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

施策の内容	番号	事業名	Α	В	O	О
(1)学校教育における人権・同和教育 の推進及び支援	60	人権·同和教育推進事業		0		
	61	人権学習推進事業		\bigcirc		
(2)社会教育における人権・同和教育 の推進及び支援		解放子ども会育成事業	0			
	63	解放学級育成事業		\circ		

〇重要課題7 市民文化の創造

施策の内容	番号	事 業 名	Α	В	С	D
		文化芸術活動推進事業		\bigcirc		
(1)美術に関する創造的活動の推進	65	美術館運営管理事業	0			
	66	企画展事業	0			
	67	美術教育普及事業	0			
	68	文化財保護事業	0			
(2)文化財の保護・継承・活用	69	歴史民俗教育普及事業	0			
		歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業	0			

☆点検評価表の見方☆

事業名 (予算・決算)	[番号] 事業名 (予算:	千円	決算:	(課 : 千円)	係)			
目 的	事業の目的について記述	載していま	す。						
事業内容	平成27年度に実施した	た事業につ	いて記載	していま	す。				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等への取組】	平成27年度の課題としてあげた事項等を記載しています。							
	評価項目			A	В	С	D		
	事業の必要性								
	事業の効果								
	事業の効率性								
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 自己評価に至った理由について記載しています。 評価の指標は、次のとおりです。 A:期待通り B:概ね期待通り C:課題あり D:事業の見直し要								
今後の 方向性	この事業の目的を達成で	するための	方向性に	ついて記	載してい	ます。			
H28年度 の課題	平成28年度の課題に	ついて記載	していま	す。					

『評価委員の意見』

点検評価委員会議でいただいた、評価委員の意見を記載しています

教育委員会評価

評価委員の意見を踏まえ、 教育委員会が評価しました。

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名	[1] 少人数指導推進事業 (学校教	育課:教	務係・指	導係)						
(予算・決算)	(予算:76,286	千円 法	夬算: 7	6, 28	6千円)					
目的	少人数指導(1学級を30人以下の児う。)により、より個に応じた指導を行う向上させるよう努めます。									
事業内容	小学校 1 0 名、中学校 7 名の少人数指導特別教員を配置し、小中学校の少人数指 算を推進しています。									
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 福岡県や県内他市町村においても多くの講師を任用しており、よりよい人材を確保するためにも、退職教員の雇用とともに、現在雇用している講師の指導・支援による人材育成が必要です。 【課題等への取組】 昨年度の講師の継続雇用、校長会や教頭会への依頼による退職教員への声かけ、教員養成系の大学への依頼など人材確保に努めています。また、講師の指導支援については、嘉麻市教育センターにおける研修会の実施や指導主事による継続的な指導を進めています。									
	評価項目	A	В	С	D					
	事業の必要性	0								
	事業の効果		0							
	事業の効率性	\circ								
事務局自己評価の根拠】 少人数指導の実施により、きめ細かな指導が充実することで、基礎・基本の学力の定着が図られるとともに、問題行動も減少し、落ち着いた学校生活が送れるようになりました。平成27年度全国学力・学習状況調査結果において、小学校では、7校中6校がいずれかの教科区分において、全国平均正答率を上回りました。そのうち、3校は、全ての教科区分において、全国平均正答率を上回っています。また、中学校においては、5校中1校が全ての教科区分において、全国平均を上回っており、学力向上が図られてきました。 嘉麻市教育センター主催の研修会の実施や退職校長が指導主事として若年講師の指導の回数を増やすなど、講師の指導力向上に努めました。										
今後の 方向性	少人数指導による、より個に応じた指導に ともに、全国学力・学習状況調査における									
H 2 8 年度 の課題 『評価委員の	本事業の実施により、一人ひとりの児童 学習面では、実態に応じた指導が展開でき 面での落ち着いた態度にも表れてきている 教員のさらなる授業力・指導技術向上の指 への支援の密度を高めます。	きるようにた ます。今後 -	なりました も、市費に	:。このこと よる少人数	は、生活 (指導特別					

『評価委員の意見』

- ・福岡県下でも先進的事業です。長期継続をお願いします。
- ・教職員の指導力及び資質の向上が一層求められます。

教育委員会評価

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算·決算)	[2] 学校提案型学力向上事業 (学校 (予算:3,384			指導係) 3,124	4千円)				
目的	学校提案による教育課程外の事業を実施することにより、各学校・地域等の活性 化を図り、学力を向上させるよう努めます。								
事業内容	学校提案による学校外補習学習推進事業を小学校 7 校、中学校 5 校で実施しました。								
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 30人以下学級による少人数指導の成果が徐々に出ていますが、依然として全国学力・学習状況調査で、嘉麻市の平均正答率は全国平均を下回っており、基礎学力が定着していない児童生徒が多く見られます。そのため、学力定着度に応じた事業を実施するなど、児童生徒の実態に応じた取組みを継続して行う必要があります。 【課題等への取組】 基礎学力の定着に向け、反復練習、補習学習等の学校独自の取組みを進めました。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
	事業の効率性		0						
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 学校提案型学力向上事業として、夏季、冬季休業中や放課後に、反復練習、補習 学習等を行いました。平成27年度全国学力・学習状況調査結果において、小学校では、7校中6校がいずれかの教科区分において、全国平均正答率を上回りました。そのうち、3校は、全ての教科区分において、全国平均正答率を上回っています。 また、中学校においては、5校中1校が全ての教科区分において、全国平均を上回っており、学力向上が図られてきました。								
今後の 方向性	本事業の特徴である各学校の独自性が見られるようになってきました。各学校の 地域ボランティアや学生ボランティアを活用しながら、基本全学年を対象として取 組みを進めていきます。平成28年度からは本事業を学力向上プロジェクト事業に 組み込んで展開していきます。								
H28年度 の課題	小中学校において、基礎学力が定着して 指導が必要であり、児童生徒の学力の実態 ります。								

『評価委員の意見』

- ・事業推進をお願いします。
- ・きめ細かな指導を工夫するよう学校を支援してください。

		_	_			
赵尔	菩	未	H	\triangle	評	∤ ∓
ソ	Ħ	玄	貝	쯔	一	ΊЩ

В

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算·決算)	[3]研究指定校補助事業 (学校教	有課:教 6 0 0 千円		導係) 算:600	0千円)				
目 的		研究指定事業を通して、教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、一人ひとりの資質の向上に向けた研修等への参加支援体制の整備を図ります。							
事業内容	研究指定校を3ヵ年事業として、毎年中学校区単位で委嘱し、3年次に研究発表を行います。平成27年度は2年次の碓井小学校・碓井中学校、1年次の稲築東小学校・稲築東中学校が研究を行いました。								
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果	0							
事務局	事業の効率性		0						
自己評価	【自己評価の根拠】 3年次の研究発表に向けて、しっかり研究をすすめることで、校内において研究の活性化が図られるとともに、教職員の研究の日常化の意識が高まってきました。特に、授業改善に向けた教材研究を積極的に進める教職員が増えてきました。 このことにより、小学校と中学校の連携が図られました。								
今後の 方向性	研究発表会は、全教職員の研究に対すた、発表会を終えた学校については、研 して授業改善を図ったりすることに繋げ	究成果の継	続的な実						
H 2 8 年度 の課題	研究期間を変更しての初めての研究発表会を行います。委嘱校を中学校区で指定することにより、小中連携した取組みの構築が期待されます。このことで、教職員の指導上の共通理解を促進し、児童生徒にとって学びやすい環境を提供します。また、発表会後は、研究の成果報告や県・市の教育論文により、市内の学校へ成果を普及させるようにします。								
『評価委員の	音目 』								

『評価委員の意見』

・教職員の負担にならない工夫が必要です。

教育委員会評価

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算·決算)	[4] 学力検証事業 (学校教育課 (予算:6,63			6, 31	1千円)		
目 的	児童生徒の実態を把握・分析し、課題を明らかにして学校内の組織的な取組み の改善を図り、自ら学び考えるなどの確かな学力を育む教育の充実を図ることで す。						
事業内容	学力検査を実施し、嘉麻市内の児童生徒の実態を把握し、分析を行いました。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局自己評価							
今後の 方向性	児童生徒の学力の実態を分析的に洗い出すことにより、個別の課題とともに、 学校全体の課題も明確となり、学校内の組織的な取組みの改善とその推進が図ら れるようになってきました。今後も各学校での組織的な取組みや改善を徹底でき るよう指導を継続します。						
H 2 8 年度 の課題	小学校における学力検査結果の平均偏差値50ポイント以上の維持、中学校における学力検査の県平均を上回るためにも、本事業を継続し、定期的な評価を行い、改善策を見出し、短期的・長期的な見通しをもって取組みを進めていくことが必要です。						
『評価委員の	きたお願いします						

・事業推進をお願いします。

教育委員会評価

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算·決算)	[5] 嘉麻市学力向上強化プロジェク (予算:16,447	(学校		教務係・ 5,57	
目的	学校への指導及び支援体制をより強化 嘉麻市土曜未来塾において、基礎基本の 学力の向上に努めます。				
事業内容	学力向上推進員(教職員OB) 5名が学校を訪問し、学校全体の取組みの検証 並びに若年講師及び講師への授業改善指導を行いました。また、嘉麻市土曜未来 塾を市内7箇所において、教員OBや学生39人を学習サポーターとして活用し 実施しました。				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 嘉麻市土曜未来塾実施に必要な学習サポーターの登録が必要です。 【課題等への取組】 学習サポーターの登録については、近隣大学を訪問し、学校内に掲示周知をお願いするとともに、市内各中学校において補充学習等に協力いただいている学生 ボランティアに登録依頼を行いました。				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
	事業の効率性		0		
事務局自己評価					
今後の 方向性	学力向上推進員については、引き続き学校への指導及び支援体制を継続します。 嘉麻市土曜未来塾においては、対象学年を拡大し、更なる学力の基礎、基本 の定着、家庭学習の習慣化を図ります。				
H28年度 の課題	嘉麻市土曜未来塾については、関係各語で、生活困窮家庭の児童生徒を含め更な習サポーターの登録が必要です。				

『評価委員の意見』

- ・各方面と協力して進めてください。
- ・PTA も参加への声かけに協力したい。
- ・多くの方に参加いただきたい。

教育委員会評価

(1)子どものニーズに応じる教育の充実

					.,,,,,,,,			
事業名 (予算·決算)	[6]特別支援教育総合推進事業 (予算:1, (務係・指 算:91				
目 的	保育所(園)・幼稚園、小学校、中学校 特別支援教育を総合的に推進することで		校及び特別	引支援学校	きにおける			
事業内容	巡回相談や個別の教育相談の実施等、発達障がいを含む障がいのある幼児児 童生徒を支援しました。							
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 子どもの発達に関する専門的な知識を持ち、連絡・調整、情報収集等を行う相談員(臨床心理士)の活用や、子どもの成長記録や生活の様子、指導内容に関するあらゆる情報を記録し、必要に応じて関係機関が共有できる相談支援ファイル「かまっこすくすくファイル」等の活用が必要です。 【課題等への取組】 特別支援教育支援教員と相談員(臨床心理士)による巡回相談を実施し、就学前から就学における、支援が必要な児童の早期発見と早期対応を行いました。また、平成24年度に作成した関係機関と情報共有ができる相談支援ファイルを支援が必要なこどもの保護者に配付し、情報の共有を図りました。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果	0						
	事業の効率性		0					
事務局 自己評価の根拠】 発達支援連携協議会を始めとする関係機関と連携していくことで、就 ら中学校、さらには高等学校(大隈城山校)まで視野に入れた段差のな 一ズに応じた教育活動が展開されるようになりました。また、巡回相談 し、専門的な指導助言を受けることで、幼児児童生徒の実態に応じた適 援や指導が行われるようになってきています。								
今後の 方向性	特別支援教育支援教員と相談員による 有できる相談支援ファイルの活用、リー 育の啓発を行うことにより、早期からの 28年4月1日施行の「障害者差別解消 いきます。	-フレット D支援体制	の全戸配るが構築され	布などの特 れてきまし	別支援教			
H28年度 の課題	早期からの支援体制構築のためには、 教育支援教員と相談員による巡回相談の 連絡会の開催、相談支援ファイルの活見 発等が必要であり、今後も継続して、ま	D実施、特 用、関係機	別支援教育 関の連携、	育コーディ 特別支援	ネーター			
『評価委員の	音見│							

『評価委員の意見』

- ・保・幼から高校まで総合的に推進されていることが、とても良いことだと思います。
- ・一人ひとりに目が行き届くような方法を、今以上に工夫してください。

教育委員会評価

(1)子どものニーズに応じる教育の充実

事業名 (予算·決算)	[7] 補助教員配置事業 (学校教育 (予算:72,605刊			導係) 9, 0 8:	3千円)		
目 的	特別支援教育充実のための補助教員、介助員、支援員を配置し、一人ひとり のニーズに応じた教育条件の整備を図ります。						
事業内容	特別支援教育補助教員16名、特別支援学級介助員3名、特別支援学級支援 員16名を配置し、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育を行いました。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 一人ひとりの実態に応じた適切な指導や支援を行うための特別支援教育に係る専門的な研修を受ける機会を増やすことが必要です。 【課題等への取組】 補助教員、介助員、支援員の専門的指導や支援ができることを目的とした嘉 麻市教育センター主催の特別支援教育の研修会を実施しました。また、県が実施する研修会にも積極的に参加するよう指導しています。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局自己評価	司 【自己評価の根拠】						
補助教員等の配置により、個に応じた対応ができています。また、特別支援 教育に係る研修会の実施や研修会への参加奨励により、専門的な指導や支援が 行えるようになってきました。今後もスキルアップに努めます。平成28年4 月1日施行の「障害者差別解消法」の関連性も重要視しながら展開していきま す。							
H 2 8 年度 の課題	一人ひとりの児童生徒の教育ニーズに応じた、補助教員等の適切な配置と任 3年度 務内容に対応した特別支援教育に係る研修を、関係機関と継続して実施するこ						

『評価委員の意見』

- ・嘉麻市の教育環境の充実はすばらしいと思います。
- ・個に応じた対応ができているとのこと。今後もお願いします。

教育委員会評価

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

事業名 (予算·決算)	[8] 英語コミュニケーション能力 (予算:23,031=	(学校教育	謂:教	务係・指 導3, ○ 3		
目 的	言語や文化についての体験的理解を選 力を養い国際感覚を身に付けさせること		によるコミ	ミュニケー	ション能	
事業内容	国際的な共通語として英語によるコミュニケーション能力の育成や文化についての体験的理解を深めることを目的として、外国語指導助手(ALT)の活用による外国語活動の充実を図ります。					
H 2 7 年度 の課題と	工と四人、元皇工化の「「ユー」」」」にいい自然と四の名気がのうのう					
取組	【課題等への取組】 各中学校区に配置しているALTを活た。	舌用し、教	職員の指導	尊力向上を	図りまし	
	評価項目	А	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
事務局	事業の効率性		0			
自己評価	【自己評価の根拠】 ALTを各中学校区に1名配置し、小中学校における外国語教育の充実を図ることができました。また、外国語教育を更に充実させるため、ALTの契約方法を引き続き労働者派遣とすることで、TT(チームティーチング)による授業が可能となりました。					
今後の 方向性	ALTを活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成や文化について の体験的理解を深めるため、外国語教育の更なる充実、教職員の指導力向上の ための取組みを行います。					
H 2 8 年度 の課題	とにより、児童生徒のコミュニケーショの指導力向上に取組む必要があります。 新テスト(「読む・聞く・書く・話す」	ための取組みを行います。 今後も教職員が主となる授業展開とALTの専門性を活用した授業を行うことにより、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに、教職員の指導力向上に取組む必要があります。また、国の動向、特に、中学校の英語新テスト(「読む・聞く・書く・話す」4技能測定)や小学校の外国語活動の教科化を踏まえた研修会等の実施が必要です。				
『評価委員の)意見』					

- ・子どもの学習の場や遊びを通じてコミュニケーション能力の育成に努力してください。
- ・ALTの有効活用をより望みます。

教育委員会評価	В
---------	---

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

± 44 /2	「○〕桂却数本批准市業 / 学校数本	三田 土山 7万	· 佐 - 七 - 二	(な)			
事業名 (予算・決算)	【 9】情報教育推進事業 (学校教育 			1 余) 3, 7 9:	7 千円)		
	(14, 33		<i>/</i> / // · ·	<u> </u>	, 113/		
目的	児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を、積極的か つ適切に活用できるようにするため、情報教育の充実を図ります。						
事業内容		嘉麻市教育センターに情報教育推進ICT支援員2名を配置し、児童生徒の発 達段階に応じた情報活用能力の育成、情報モラル教育を行いました。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 コンピュータ等の情報機器を使うことが目的とならずに、問題解決に向けた情報の収集や選択、発信を行うことを目的とした授業改善が必要です。また、教職員の事務処理を効率よく進める環境整備も必要です。 【課題等への取組】 情報教育推進ICT支援員2名を配置し、ICTを活用した授業改善、校務の電算化を推進しました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 情報教育推進ICT支援員の配置により、各学校の情報教育の充実に向けたサポート体制を整備し、通知表等の校務の電算化を推進し、学校ホームページを整備しました。また、小学校では、文書作成補助や基本操作練習補助、中学校では、英語プレゼンテーション作り補助等の授業支援にも積極的に活用することができました。						
今後の 方向性	各学校における情報機器を活用した授業改善や、教職員の情報活用能力の向上 が図られてきました。また、校務の電算化により、事務処理の軽減が図られてき ました。今後も各学校の情報教育の充実を図ります。						
H 2 8 年度 の課題	今後も継続して、情報教育推進協議会や情報教育研修会を実施し、問題解決的な学習の中で、調べ活動や表現活動に情報機器を活用する学習を進めるよう促します。また、LINEなどSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) について、適切な利用の在り方の指導も併せて進めるよう促していきます。						

『評価委員の意見』

- ・LINE、SNS等の指導をお願いします。
- ・「通知表等の校務の電算化」とありますが、情報流出を心配します。

教育委員会評価

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

	,						
事業名	[10]情報教育施設整備事業 (学	学校教育課	!: 管理係	€)			
(予算・決算)	(予算:50,020	千円 :	決算: 5	0, 018	8 千円)		
目的	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用 できるように、情報教育を行なうための情報機器の整備・維持管理を図ります。						
事業内容	市内小、中、高等学校(14 校)のPC教室及び校務用のPCのリース並びにP C教室、校務用及び教育用のPCの保守を行い、情報教育の充実を図ります。ま た、嘉麻市光ファイバによる情報通信基盤整備後、各学校で管理しているファイ ルサーバーをデータセンターへ移行します。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】						
	評価項目	A	В	С	D		
		A	В	С	D		
<u> </u>	評価項目		В	С	D		
事	評価項目 事業の必要性	0	В	С	D		
事務局 自己評価	評価項目 事業の必要性 事業の効果	の の 用PCのリ fにより、f	○ プレイス ₹ データの一:	を行いまし	た。また、		
	評価項目 事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 市内小、中、高等学校(14 校)の校務 ファイルサーバーのデータセンター移行	用PCのリ fにより、f なりました	 プレイス ₹ データの一	を行いました	た。また、		
自己評価 今後の	評価項目 事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 市内小、中、高等学校(14 校)の校務 ファイルサーバーのデータセンター移行 地区の各学校において情報共有が可能と 学校ICT化推進基本計画を策定し、	用PCのリ によりました 学校間通信	プレイスを データの一 こ。 言ネットワ	を行いました 括管理を行 ークの整備	た。また、		

『評価委員の意見』

・更に整備促進をお願いします。

教育委員会評価

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

事業名 (予算·決算)	[11] 持続可能な社会を実現する環境教育の推進 (学校教育課:教務係・指導係) (予算:個別予算なし 決算:個別予算なし)					
目 的	身近な環境や環境問題に興味、関心を持ち、人間活動と環境の関わりについて 総合的な理解と認識を育成します。また、環境の保全に配慮した望ましい働きか けのできる技術や思考力、判断力を身に付け、よりよい環境の創造活動に主体的 に参加し、環境に対し責任ある行動を取る能力を育成します。					
事業内容	郷土を愛する心を育てるため、小中学校で体験活動を重視した地元の良さに気づき、その環境に触れる教育を推進します。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 環境体験活動がすべての学校において、意識して取組まれていない課題があります。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果			0		
	事業の効率性			0		
事務局 自己評価の根拠】 各学校への周知を行ってきましたが、それぞれの教育カリキュラムの変更までは至りませんでした。今ある活動から新たな地元に目を向けた、具体的に変更でるための「ひと・もの・こと」の資料の提示等が不足していました。 実施できた学校においても、嘉麻市外での活動にとどまり地元の環境に視点を向けることができませんでした。					に変更す	
今後の 方向性	嘉麻市の自然環境に触れ、郷土に愛着を持ち、嘉麻市に定住する、または、一 旦は嘉麻市を離れても将来戻ってくる人材を育成します。					
H 2 8 年度 の課題	- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一					
『証価委員の音目』						

『評価委員の意見』

- ・定着するように取組まれることが課題と思われます。
- ・嘉麻市の豊かな自然についての取組みをお願いします。

教育委員会評価	В

(3) 信頼される教員の確保と研修の充実

		141/7/	<u> </u>	唯一人と可	19 17 70 7 0
事業名 (予算·決算)	[12] 嘉麻市教育センター研修推 (予算: 1	(学校教		教務係・ 算:105	
目的	嘉麻市教育センターを中心に、市の記 の教育研究を奨励するとともに、若年原 資質向上に努めます。				
事業内容	教職員研修、授業充実研修、専門研修 行います。また、教職員の資質向上を目				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 若年講師への指導(教科等の指導、特急務です。また、専門的知識を必要とすです。さらには、小学校における教科をす。 【課題等への取組】 嘉麻市教育センター指導主事を中心に修を実施しました。さらに、教育論文代職員の指導力向上に努めました。	お教職員を研究できた、教職員	に対するるる場を設定	ーー・ 肝修会の実 官すること 業充実研修	施も必要 も必要で 、専門研
	評価項目	Α	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
	事業の効率性		0		
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市教育センターに指導主事を配置また、平成27年度は、学校訪問件数の継続的な授業改善に取組むことができてすることは難しく、継続した指導・支援平成27年度の教育論文は合計21214本、奨励賞5本が表彰されました。	5 5 回の指 ています。 爰が必要で kの応募が	導主事派遣 しかし、知 す。 あり、う ¹	遣により、 豆期的に成 5優良賞 2	計画的・ 果を期待 本、佳作
今後の 方向性	少人数指導特別教員等の市費負担講師の増加、定数欠等の県費負担講師も増加しており、若年講師への指導・支援は欠かせません。また、若年教諭の実践的指導力向上を図ります。教育論文の閲覧を容易にし、研修の成果を広く還元していきます。				
H 2 8 年度 の課題 『評価委員の	していきます。 今年度も若年講師に対する研修内容、方法、時期、機会の更なる充実が必要です。そのためにも、新規事業である「嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業」における学力向上推進員を積極的に活用し、指導・支援の充実を図ります。また、若年教諭はもとより、それぞれの研修レベルに応じた指導を行います。さらに、昨年度、立ち上げた中学校教科研究会を充実させるとともに、小学校教科研究会を立ち上げ、小中学校における授業力向上に努めます。				

『評価委員の意見』

- ・教育センターを設立していることがすばらしいです。人材を生かして市内小中学校の教育 充実のため、サポート、指導されることを望みます。
- ・中学校教科研究会の報告を要望します。

教育委員会評価

(3) 信頼される教員の確保と研修の充実

事業名 (予算·決算)	[13] 教職員人事配置事業 (学 (予算:個別 ⁻					
目的	教職員の交流を図り、人事の適正化を進めます。また、地域の実態を踏まえ、 学校間格差をなくす人事配置を実施します。さらに小中学校連携の推進の観点 から小中学校の人事交流を行っていきます。					
事業内容	地域の実態を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施し、小中学校の人 事交流を行いました。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題など】 年齢構成や実践的指導力のバランスに配慮した、きめ細かな人事配置が必要です。 【課題等への取組】					
	年齢構成や実践的指導力に配慮した 定期的に学校の実態を把握したりしなが					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	\circ				
	事業の効果		0			
市改口	事業の効率性		0			
自己評価	事務局					
今後の 方向性	年齢構成や実践的指導力に配慮した人事配置を実施していきます。今後の大量退職に伴い、大量採用さえれる状況を考えながら、人事配置を実施していかなければなりません。					
H28年度 の課題	学校格差をなくす適切な人事配置を見ながらきめ細かな人事配置に努めます。 計画的な人事配置も行います。その上に対応できる、長期的な展望による人事	。また、同 で、学校の]一校での)活性化や	長期勤務の 特色ある学	教職員の	

『評価委員の意見』

- ・人的配置替えは大切です。小中の人事交流は、人材を見極め、適正な交流を考えてください。
- ・きめ細かく人事配置が行われていることが分かりました。

教育委員会評価	В
---------	---

(4) 安心して学べる学校づくりの推進

	.	, ,,,,,,,,	-, -	, , ,		
事業名 (予算・決算)	[14] 学校防犯体制整備事業 ((予算:9,47)			係・指導 9,42		
目 的	児童生徒の安全管理のため、学校安:	全に関する	取組みのき	充実を図り	ます。	
事業内容	学校支援専門員(警察OB)を配置し、警察等関係機関と連携して生徒指導上の支援を行っています。スクールガードリーダーによる校内外の定期的な巡回や見守り、安全マップの作成、防犯メールの配信により、学校の安全体制の整備充実を図りました。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 生徒指導上の問題については、学校の指導だけでは限界があります。また、通学路の安全点検、危険箇所の改善要望等を行い、児童生徒が安全に登下校できるよう対策を講じる必要があります。さらに、不審者情報についても周知徹底する必要があります。 【課題等への取組】 学校支援専門員と学校との密な連携、スクールガードリーダーや地域ボランティアによる通学路での安全指導の実施を行いました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性	0				
事務局 目己評価の根拠】 生徒指導上の問題については、学校支援専門員と警察等関係機関との連携により、迅速な生徒指導対応ができました。また、スクールガードリーダーの配置、地域ボランティア、防犯メールの全校実施により、学校防犯体制の整備は進んでいます。 不審者事案が発生した場合は、学校支援専門員と警察が連携して、巡回等を行うことにより、深刻な事態に発展しないよう対応しています。				・ダーの配 の整備は		
今後の 方向性	学校と学校支援専門員と警察等関係機関との連携をさらに強化し、様々な生徒指導上の問題の対応を進めます。また、「事件・事故の発生件数『O(ゼロ)』!」を目指し、定期的な通学路の安全点検、危険箇所の改善要望の継続、安心メール等による不審者事案への早期対応を行うことにより、児童生徒が安全に登下校できるよう努めます。					
H 2 8 年度 の課題	様々な生徒指導上問題に対しても、ます。また、不審者情報の周知徹底や 意識も高まってきました。本年度も連	防犯メール	の実施に	より、地域	への防犯	

『評価委員の意見』

- ・火災、地震、不審者侵入を想定した校内訓練を考えてください。
- ・地域ボランティアによる防犯活動及び防犯メール等助かります。
- ・保護者、地域、警察等の連携が重要です。

教育委員会評価

(4)安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算·決算)	[15] 通学対策事業 (学校教育 (予算:45,525 ⁻		係・教務 (央算:44		1 千円)
目 的	学校の統廃合に伴い、遠距離通学することになった児童生徒の通学費の負担 を軽減します。				
事業内容	学校の統廃合に伴い、遠距離通学すを を軽減するため、通学費の補助、スク-				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 遠距離通学する児童生徒の安全確保と保護者の通学費の負担を軽減することが必要です。				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
市公口	事業の効率性	0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 稲築西小学校に通学する児童のうち、遠距離通学している児童のバス定期券 の購入費用の補助を100%実施することができました。また、嘉穂中学校及 び嘉穂小学校でスクールバスを運行し、遠距離通学となる児童生徒の送迎を行っています。				
今後の 方向性	今後も、遠距離通学している児童生徒のバス定期券の購入費用の補助を100%実施します。また、嘉穂小学校と嘉穂中学校のスクールバスによる送迎も行います。スクールバスについては、その運用方法について協議が必要となります。				
H28年度 の課題	稲築西小学校と嘉穂中学校に通学す 児童生徒のバス定期券の購入費用の補 スクールバスによる送迎について、通 ことを検討します。	助とともに	、嘉穂小学	学校と嘉穂	中学校の

『評価委員の意見』

- ・子どもの意見、保護者の意見も聞いてください。
- ・スクールバスの送迎については、少し歩かせることも含めて、保護者と意見交換しながら 見直しをお願いします。

教育委員会評価

A

(5) 学校施設整備の推進

目 的 すべての児童生徒が安心・安全な環境において、生活(学習)ができ 小中学校の補修、修繕、草刈等環境整備を実施し、施設維持の管理を行い ・市内小中学校13校(小学校8校、中学校5校)の施設整備及び維持領	るよう、					
・市内小中学校13校(小学校8校、中学校5校)の施設整備及び維持領	ハます。					
事業内容 学校特別教室棟防水工事等 ・施設維持管理業務委託(草刈、清掃、樹木剪定、浄化槽維持管理等)						
【課題等】 安心・安全な教育環境を維持するために、緊急性を要するものから施 H 2 7 年度 の課題と 取組 【課題等への取組】						
・緊急性の高いものから施設整備を実施し、安全性の確保に努めました ・碓井小学校の廊下改修工事を行い、結露による事故防止に努めました。						
評価項目 A B C	D					
事業の必要性	l					
事業の効果						
事務局	1					
自己評価 安心・安全な教育環境を整備するために必要な事業です。 今年度は、碓井小学校廊下改修工事、稲築西小学校アスベスト含有天	安心・安全な教育環境を整備するために必要な事業です。 今年度は、碓井小学校廊下改修工事、稲築西小学校アスベスト含有天井工事、 稲築中学校特別棟防水工事等、緊急性の高いものを優先的に実施し、安心・安全					
今後の 方向性 引き続き、安心・安全な環境整備及び維持管理を行っていきます。ま 校の維持補修工事の要望により、緊急性の高いものから施設の整備を進 ます。						
老朽化により、プールの改修を実施します。 H28年度 の課題 安心・安全な教育環境を維持するため、緊急性を要するものから施設						

『評価委員の意見』

・安全、安心確保のため、更なる整備をお願いします。

教育委員会評価

(5) 学校施設整備の推進

事業名 (予算・決算)	[17] 大隈城山校維持管理事業 (5 (予算:16,787=		· – – ·	•••	3 千円)
目 的	すべての生徒が安心・安全な環境におい 等の適切な維持管理を行い、教育環境の整			べきるよ	う、校舎
事業内容	大隈城山校の施設整備及び維持管理(建	建築年度: 昨	召和61年	度)	
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 年次計画的に老朽化した施設の整備を図る必要があります。 適正な予算執行を図ります。 【課題等への取組】 体育館バスケットボードの改修工事を行うとともに、清掃業者や浄化槽維持管理業務等を適切に実施しました。 学校と連携を図りながら、適正な予算執行に努めました。 				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
	事業の効率性	0			
事務局 自己評価 大隈城山校は、地域の後期中等教育機関として大きな役割を果たしていま 今年度はバスケットボードの改修工事を行う等、施設の整備を行いました。 今後も老朽化した施設の整備を継続的に実施し、安心・安全な教育環境の 管理及び適正な予算執行に努めます。				た。	
今後の 方向性	生徒が、安心・安全な環境で学習に望め	うるよう、教	枚育環境の	整備を実施	をします。
H28年度 の課題	引き続き、年次計画的な施設の整備を図	図る必要がな	あります。		

『評価委員の意見』

- ・県立校と同レベルの整備をお願いします。
- •「学校がどこにあるのかわからない」とよく聞きます。案内板を考えてください。

教育委員会評価

事業名 (予算·決算)	[18] 大規模改造工事事業 (学校 (予算:309,531千円				5千円)	
目 的	老朽化した学校施設を改修することにより、安全性、耐久性を向上し、児童生 徒が安心・安全な環境において生活(学習)できるよう改修工事を行います。					
事業内容	山田中学校大規模改造(校舎棟外部)工事 山田中学校体育館床改修工事 山田中学校大規模改造(校舎棟内部)工事(H28 へ繰越) 稲築東小学校防災機能強化工事(体育館・校舎)(H28 へ繰越)					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 安心・安全な施設の環境整備を行うとともに、嘉麻市学校施設整備基本計画の 事業優先順位の見直しを行い、計画的に大規模改造工事を含む施設の改修を実施 していきます。 【課題等への取組】 施設の現状確認を行い、嘉麻市学校施設整備基本計画の事業優先順位の見直 しを実施し、緊急性・必要性の高いものから改修を実施しました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性		0			
事務局 自己評価				28年度		
今後の	- 続けているため これからの教育環境に対応した施設の整備計画の第字が必要にし					
方向性		対応した施	設の登備	計画の策定	が必要に	

『評価委員の意見』

・学習効果が上がる教育環境づくりは必要です。ぜひ継続をお願いします。

教育委員会評価

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

事業名 (予算·決算)	[19] 学校関係者評価事業 (学校	交教育課 : 6 2 2 千 F			6千円)		
目的	教育活動等の成果の検証とその客観性・透明性の確保を通じて、学校運営の改善と発展を目指します。						
事業内容	保護者、地域住民等の連携強化のために学校関係者評価を全校で実施し、評価 結果を公表しています。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 開かれた学校、信頼される学校づくりに向け、学校運営状況を保護者や地域住 民等に公表する必要があります。 【課題等への取組】 学校関係者評価を全校で実施し、学校HPで結果をすべて公表しました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	†	0				
事務局	事業の効率性	<u> </u>	0				
自己評価	【自己評価の根拠】 すべての学校で自己評価に基づく、学校関係者評価の実施・公表・報告が確実に 行われました。 しかし、公表の方法や内容については、更なる工夫が必要です。また、評価項目についても、各学校の重点施策に併せた絞込みが必要です。						
今後の 方向性	学校関係者評価の結果の公表については、その客観性・透明性を確保することができました。今後も、学校運営改善と発展を目指し、学校関係者評価における学校評価結果、改善策の公表を学校HP等で行い、自己評価の質の向上と、保護者・地域住民との連携強化を図ります。						
H28年度 平成28年度も適正な学校関係者評価及び学校評価結果、改善策の公表を学校H の課題 P等で行います。					を学校 H		
『評価委員の ・公表を学	意見』 校HPとありますが、地域住民に行き届る	きますか。 					
教育 委員 会評価							

(6)地域に開かれた学校づくりの推進

事業名 (予算・決算)	[20] 学校開放事務事業 (学校教 (予拿	7 育課:管 算:70 ⁼		央 算:3!	5千円)
目 的	生涯学習社会における、文化、スポーツ等の地域活動の場として、学校施設を 開放することにより地域住民の生涯学習の推進を図ります。				
事業内容	学校教育に支障のない限りにおいて、市内小、中学校13校(小学校8校、中学校5校)の体育館及び運動場等の施設を開放します。				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 施設利用申請時の受付業務の簡素化のため、申請書の見直し等を行い許可書発行までの事務の簡素化を検討します。 【課題等への取組】 申請書類の見直しを行い、施設利用の申請から許可書発行までの事務を各学校で行うようにしました。				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
	事業の効率性		0		
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 地域住民の継続した運動機会を確保するためにも、学校施設の開放は必要な事業であり今後も継続して行います。 本年度の課題である施設利用申請時の受付事務の簡素化のため、申請書類の見直しを行いました。				
今後の 方向性	近年学校施設利用団体の利用マナーが低下しており、今後は利用上の注意事項 を徹底し利用マナーの向上に努めます。				
H28年度 の課題	各利用団体の学校施設開放に関する利用規定を整備する必要があります。				

『評価委員の意見』

- ・利用マナーについては、責任者によく説明してください。
- ・利用規定を早く決めてください。

教育委員会評価

(7) 小中連携教育への取組み

事業名	[21] 小中連携教育等基本方針作成事業					
→ 未 右 (予算・決算)	(学校教育課:教務係・指導係) (予算:個別予算なし 決算:個別予算なし)					
	(を算なし	决 异:	:個別予身	算なし)	
目 的	義務教育9年間を通して、系統的、継続的な学習指導や生徒指導を行い、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むために、小中学校の校区型の小中連携事業を基本に推進し、小中学校すべての教職員による協働体制を整え、協働実践を行います。					
事業内容	小中連携教育等基本方針を作成し、必要に応じモデル校による実施を行いま す。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 小学校と中学校の教育課程の違いや学校文化等のすり合わせのためのモデル 校選定や校舎一体型、分離型等の教育条件整備を検討する必要があります。 【課題等への取組】 学校教育課内での各係による様々な状況把握及び協議を行いました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性		0			
	事業の効果		0			
事務局	事業の効率性		0			
自己評価	【自己評価の根拠】 校舎建築又は改築、カリキュラムの編成等、先進地校視察を行いながら協議を進めてきました。その視察を学校教育課内の各係に還元し、担当を決めながら検討をしています。					
今後の 方向性						
H28年度 の課題 本年度も先進地視察等を通して、小中連携及び小中一環教育の嘉麻市内での あり方を研究し、小中連携教育等基本方針を作成します。また、モデル校を指 定し、検証も進めます。						
	意見』 校については、十分研究、検討してほしに 願いします。	いと思いま	∶す。本市(の教育実態	に即した	
教育委員会評価 B						

〇重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(7) 小中連携教育への取組み

事業名 (予算・決算)	[22] 小中連携・一貫教育研究事 (予算:個別 ⁻			教務係・ : 個別予算	
目的	研究開発校や構造改革特区における小 リキュラム区分の弾力化など小中学校間 ついて、種々の観点に配慮しつつ十分に 教職員の人事交流や共同研究、小中連携 などを図ります。	の連携・接 研究してい	接続を改善 [・] ・きます。	するための また、小中	仕組みに 学校間の
事業内容	小中学校間の教職員の人事交流や共同 す。	研究を通し	て、小中	連携を推進	していま
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 小中学校が連携し、初等教育(一般の教育(一般の中学校で行われている教育育課程の編成が必要です。 【課題等への取組】 小中学校間の教職員の人事交流を実施組みの推進を図るようにしました。)の課程、	いわゆる	9 ヵ年を見	通した教
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性		0		
	事業の効果		0		
事務局	事業の効率性		0		
自己評価	【自己評価の根拠】 小中学校間の教職員の人事交流を実施しました。また、5中学校区毎に、小中学校が連携して取組みを推進できる組織作りを行うよう指導しました。しかし、 小中連携に関しての協議時間の確保が難しく、共通理解と共通実践が不十分な現 状があります。				
今後の 方向性	本市の3つの教育課題(学力の向上、不登校児童生徒の解消、規範意識の醸成) を解決するための方策として、小中連携の重要性の認識は高くなってきました。 今後も継続して取組みます。				
H 2 8 年度 の課題	先進地視察等を通して、小中連携及び小中一環教育の嘉麻市内でのあり方を研究し、小中連携教育等の基本方針を作成します。また、モデル校を指定し、検証も進めます。				

- ・急がず、じっくり取組むことです。モデル校の指定は急ぎすぎだと思います。
- ・「協議時間の確保が難しい」との自己評価は前年度も記述がありました。具体的に示してく ださい。
- ・先進地視察も大事ですが、当市にあったものになっていないのでは。

教育委員会評価	В
	D

〇重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(8)教育の機会均等の促進

事業名	│ │[23] 就学援助事業 (学校教育	課:教務	孫)		
(予算・決算)	(予算:81,263 ⁻	千円 沒	央算:80	0, 24	2千円)
目 的	学校教育法第 19 条に、「経済的理由 童又は学齢生徒の保護者に対しては、 らない。」と規定されており、経済的理 援学級に在籍する児童生徒の保護者に	市町村は、 由により家	必要な援助 大学困難な!	助を与えな 児童生徒及	ければなび特別支
事業内容	経済的理由により就学困難な児童生物の保護者に対し、教育費の一部を援助]支援学級(こ在籍する	児童生徒
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 嘉麻市内には経済的理由により就学が困難な児童生徒が約4割以上在籍しており、該当児童生徒の把握、適正な支援が必要です。 【課題等への取組】 平成25年度の生活保護基準の見直し(保護費の減額)に伴う規程改正により、継続した支援を平成27年度も行うことができました。 また、広報誌、保護者へのチラシの配布等での就学援助の申請時期等を周知することにより、援助の必要な保護者に申請を促しました。				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	\circ			
事務局	事業の効率性		0		
自己評価	【自己評価の根拠】 経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の申請に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の教育費の一部を援助することができました。また、本事業の周知につきましては、広報誌、チラシ等の配布を行いました。				
今後の 方向性	今後も、継続して該当児童生徒への 周知を行っていきます。	援助と本事	事業の広報等	等の情報発	信による
H28年度 の課題	生活保護基準の見直しに伴う規程のが、経済的理由により就学困難な児童が必要となります。				
ᄝᆓᄺᆂᇦᇰ	+ - -				

『評価委員の意見』

- ・嘉麻市の地域性から見て、就学援助は必要です。適正な援助を続けてください。
- ・仕事に就いていて、申請、受付の問い合わせもできない保護者がいると聞きます。

教育委員会評価

〇重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(8)教育の機会均等の促進

			- / 3/113	. 1,,,,,				
事業名 (予算・決算)	[24] 奨学金事業 (学校教育課 : (予算:20,509			0, 50	2千円)			
目 的	嘉麻市独自の奨学金制度により、高等学校や大学等に進学、修学するための奨 学金を貸付け、経済的理由による、修学困難者の軽減を図ります。							
事業内容	嘉麻市奨学資金貸付及び返還に関する業務 (貸与中の人数: 47人) (返還中の人数: 192人)							
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 返還金徴収率の向上に努めるとともに、未然に滞納を防止する措置を実施します。 【課題等への取組】 滞納者に催告状を送付し、その後納付相談を行うことで徴収率の向上に努めました。 口座振替制度の推進についても継続して行っています。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		\circ					
	事業の効率性		0					
事務局自己評価の根拠】 奨学金制度を広報、市ホームページに掲載するとともに、中学校、高等学校周知を行い、新規に11名の貸付を行いました。 返還事務については、口座振替の推進、催告後の納付相談等により、嘉麻市学金返還の収納率が、平成26年度51.39%から平成27年度51.99%と約0.6ポント上昇しました。 納付相談や口座振替の推進等新たな滞納者を生まないための取組みの効果がれてきていると考えます。								
今後の 方向性	経済的理由による、修学困難者の負担軽減の点からも事業を継続して実施します。							
H28年度 の課題	返還金徴収率の向上に努めるとともに す。	、未然に清	帯納を防止	する措置を	·実施しま			

- ・納付相談等を行い、滞納者が少なくなるように努めてください。
- ・奨学金はとても助かりますが、返還が子どもにとって重荷と聞きます。

教育委員会評価	В
---------	---

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算·決算)	[25] 道徳教育推進事業 (学校教 (予算:個別			導係) : 個別予算	草なし)	
目的	学校における道徳の時間の充実を図る りながら、豊かな自然・社会体験を通し 成を図ります。					
事業内容	学校における道徳の時間の充実を図る りました。	とともに、	家庭や地域	域社会との	連携を図	
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 教育活動全体で行う道徳教育の要である道徳の学習の時間が、適切な実施及び充実するように、指導・助言を繰り返し行っていく必要があります。 【課題等への取組】 道徳の時間の時数確保と初任者研修における道徳の授業を中心に、道徳の授業改善を進めました。また、各学校での道徳の時間の授業参観を実施しました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
本 20	事業の効率性		0			
事務局 自己評価 名小中学校ともに、年間35時間(小1は34時間)の指導時数は確保でいます。また、学習指導要領に示されている内容項目も全て指導されているしかし、基本的な学習過程に基づいた指導、学校や児童生徒の実態に応じた項目の絞込み等、今後も継続して指導することが必要です。						
今後の 方向性						
H28年度 の課題	公開授業を行います。さらに、道徳の教科化に向けての研修も行います。 道徳の時間の量的な確保(指導時数や指導すべき内容項目の指導)は、実施することができています。しかし、質的な確保(基本的な学習過程に基づいた指導や学校や児童生徒の実態に応じた重点項目の絞込み)については、不十分な点があります。あらゆる教育活動において適切に道徳教育が行われ、その要としての道徳の時間に、個々人の特性を踏まえた適切な指導が、実感的に行われるよう支援します。					

- ・目的については、全面的に共感します。
- ・道徳を教科化して、教師が採点するという意味では反対です。

教育委員会評価	В

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

				11-14-1-			
事業名 (予算·決算)	[26]キャリア教育推進事業 (学 				•		
()'并 () 并	(177千	当 决算	算:14()十円)		
目 的	家庭や地域と連携して、職業・職場体験活動等を行い、児童生徒一人ひとりの キャリア発達を支援し、望ましい勤労観、職業観を育てます。						
事業内容	市内の中学校において、総合的な学習の	市内の中学校において、総合的な学習の時間の中で、職場体験を実施しました。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 地域と連携した活動を充実するためにも、校区内・市内の協力事業所を開拓する必要があります。 【課題等への取組】 職場体験学習を市内すべての中学校で実施しました。校区内・市内の協力事業						
	所の開拓については、各学校との連携を 						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
事務局	事業の効率性		0				
自己評価	【自己評価の根拠】 職場体験学習(2日~3日)を市内の全中学校で実施し、生徒の職業観や進路 選択に向けた意識に変容がみられました。しかし、体験場所の校区内・市内での 掘り起しや体験学習の日数には、まだ検討の余地があります。						
今後の 方向性	本事業は、体験的な学習活動ができること、生徒自身に職業観や労働観、自己の生き方を見つめさせることができることから効果が期待できる事業です。 学校の指導のもと、生徒自らが体験場所を探し、交渉して実施するなど、自分の力で探究していく力を付けていくような学習になるようにしていきます。また、学習で身につけた力を発揮させ、職業選択に係る情報量を増やしたり、職業選択の幅を広げたりできるようにしていきます。						
H28年度 の課題	受け入れの事業所の拡大と、協力事業所 験日数の再検討を行うことが必要です。 して実施するなど、自分の力で探究してい うに指導していきます。	また、生徒	自らが体験	験場所を探	し、交渉		

- ・生徒にとってははじめての経験であり、いい体験です。継続して生徒が大きく成長してほし いと思います。
- ・様々な職業に関する情報を提供してくれる機関を活用してください。

教育委員会評価	А
---------	---

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算·決算)	[27] ボランティア活動推進事業 (予算:個別			教務係・ 持 : 個別予算				
目 的	家庭や地域社会と連携して、児童生徒が他の人々や社会のために役立つととも に自分が価値のある存在であることを実感し、よりよく生きるための道徳的実践 力の育成を図ります。							
事業内容	市内全小中学校において、ボランティア活動を計画的に実施しました。							
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 各学校においてボランティア活動が定着してきているものの、地域や家庭の協力を得るなど、地域社会と連動した活動にしていく必要があります。 【課題等への取組】 各学校のボランティア活動の啓発や活動の様子を、家庭や地域に積極的に発信するように努めました。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
	事業の効率性		\circ					
自己評価	事務局 自己評価 地域の清掃活動、河川清掃等、各学校の特色を活かしたボランティア活動を実施しました。また、学校通信等で、ボランティア活動の啓発や活動の様子を発信することができました。しかし、参加するだけになっているという課題は改善できはじめていますが、その活動の目的や身につけさせたい力をさらに、明確にする必要があります。							
今後の 方向性 ボランティア活動は、社会奉仕の精神の涵養にかかわる体験活動であり、その 活動そのものに価値があり、児童生徒にその意識をもたせることができました。 嘉麻市内のすべての学校が取組みを構築できるように取組みます。								
日28年度 の課題								
『評価委員の意見』 ・ボランティア活動の必要性は実感しています。さらなる事業推進をお願いします。								
教育委員会評価B								

(2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名	[28] 学校保健事業 (学校教育課	:教務係	• 指導係)	
(予算・決算)	(予算:19,886千	- 円	発: 19	669	9千円)
目 的	家庭、地域及び関係機関等の連携・協力 面にわたる健康管理の徹底を図ります。ま 児童生徒に危険又は危害が生じた場合の対	た、事故	、加害行為	為、災害等	により、
事業内容	児童生徒、教職員の健康診断を実施しま学校歯科医、学校薬剤師を配置し、児童生した。さらに、各学校において学校保健及適切に実施するよう指導助言を行いました 災害共済加入手続きや給付金の支払い業	∈徒の保健 び学校安全 こ。	、安全に関	引する指導	を行いま
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 法令に則り、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ることが必要です。また、健康診断実施日に欠席した児童・生徒については、後日健康診断を受診する機会を持つ必要があります。 【課題等への取組】 要精密検査対象者の医療機関受診奨励等を行い、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図りました。また、健康診断実施日に欠席した児童・生徒が後日、個別に健康診断を受診できるよう学校保健会を通じて医療機関へ協力依頼を行いました。				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
	事業の効率性		0		
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 児童生徒、教職員の健康診断を実施する に欠席した全ての児童・生徒が健康診断を 市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学 安全に関する指導を行いました。さらに、 に関する年間計画の作成状況を把握してい 災害共済加入手続きや給付金の支払い業	受診する(対薬剤師 各学校に います。	こは至りま を配置し、 おいて学校	:せんでした 児童生徒 交保健及び	た。また、 の保健、
今後の	法令により実施している事業であり、今	後も確実	な実施を行	ーー・ テいます。	<u>また、学</u>
方向性	校保健安全計画の充実に向けた支援を継続		- · ·		
H 2 8 年度 の課題 『誕価委員の	今年度も、法令に則り、児童生徒及び教 底を図ります。また、健康診断受診率が目 きるよう関係機関と連携を図り、小中学校 康課題に応じた保健室経営が進むよう支援	標達成になる指導し	かかる指標	(100%)	を達成で

- ・養護教諭の全校配置、さらに複数配置も検討してほしい。
- ・受診率の目標達成も大事ですが、診断後の対応も大事なのでは。
- ・保健室、養護教諭の役割は重要です。

(2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名	[29] 学校給食運営事業 (学校教育	育課:学	校給食係)	
(予算・決算)	(予算:231,742千F	円 決算	算:22.	4, 75 ⁻	1 千円)
	嘉麻市内小中学校で完全給食を行い、学	·			
目的	 ともに、魅力ある学校給食の充実に努めま	ます。また.	、「食育」	に関する授	業の実施
	│ │で「食事の重要性」等を身につける教育を	·支援しま ⁻	す。		
	嘉麻市内全小中学校で、完全給食を実施しています。衛生管理の徹底を図るため				
***	に、施設の改修及び調理員を対象とした衛生管理研修を実施しています。				
事業内容 食育に関しては「食育の日」「食育月間」はもとより、年間を通じて学校				校毎に実	
	態に応じた取組みを行っています。				
	【課題等】				
	・地産地消を継続推進し、利用率の向上	を目指しる	ます。		
	・安心・安全な給食の提供を行うため、保健所等による衛生管理立ち入り調査に				
H 2 7 年度	て指摘された事項について対応していきます。				
の課題と	【課題等への取組】				
取組	取組 ・アレルギー対応マニュアルを策定し、市内全学校で画一化を図りました。				ンた。
	・地元直売所を活用し、地場産の利用率	向上に努め	めました。		
	・牛隈小学校給食室前の廊下に風除けを設置、碓井小学校では下処理に温水を使				
	用できるようにし、更なる衛生管理の	徹底を図り	りました。		
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
事務局	事業の効率性	0			
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】				
	年間給食回数185回を基準に実施し、	1日約3,	300食	の調理提供	を行いま
	した。				
	地産地消の推進に関しては、例年同様に	地元直壳所	fを通じ、地	地場産の利用	用に努め、
	地場産利用34.0%で前年度に比べ4.1	ポイント	上昇しまし	.t=。	
今後の	安心・安全な学校給食の実施のため、職	員の衛生管	管理意識の	徹底と、ア	レルギー
方向性	対応についても適切な対応を図ります。				
H 2 8 年度	安心・安全な学校給食を実施し、更なる	衛生管理の	つ徹底を図	り、食物ア	レルギー
の課題	の対応についても適切な対応を図ります。	また、「食	の重要性.	」を身につ	ける教育
P=7/4/モリの	の支援を行います。				

『評価委員の意見』

- ・衛生管理の徹底をお願いします。
- ・朝食を食べてこない児童等の実態を確認してください。
- ・食育について、食物が私たちの体に供給される全過程について、子どもたちに理解させてほしい。

教育委員会評価

(2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算·決算)	[30] 学校給食費算定及び収納事業 (予算:6			学校給食 章:59	
目的	学校給食費は賄材料費の購入に要する経費のみを保護者負担としており、安心・ 安全な食材の購入等を行うための算定を行います。 また、受益者負担の公平性を確保するために、徴収業務を行います。				
事業内容	栄養バランスのとれた食材の購入ができるよう予算管理を行っています。 受益者負担の公平性を確保するため、給食費徴収業務を行っています。				
H 2 7 年度 の課題と 取組	の課題と【課題等への取組】				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
事務局	事業の効率性		0		
自己評価	自己評価			-	
今後の 方向性	栄養バランスのとれた安心・安全な食材の購入を行うための算定を行います。また、受益者負担の公平性を図るため、徴収業務を行います。				
H28年度 の課題	受益者負担の公平性を確保するため、更 行います。	なる収納罩	率の向上を	目指し、徴	収業務を

『評価委員の意見』

- ・未納者対策、保護者にねばり強く対応してください。
- ・子ども給食の重要性を、PTA活動のとき常に言い続けたらどうでしょうか。

教育	禾	므	Δ	≑ਹਨ	$I \square$
47 日	∌	\blacksquare	云	青半	1111

(3) 家庭・地域・学校における読書活動推進

事業名 (予算·決算)	[31] 読書活動推進事業 (学校教 (予算:27,222 ⁻				5 千円)
目的	児童生徒の学習や読書意欲を高めるた 会等との連携を図りながら、学校図書館 ともに、組織的、継続的な読書活動の推	の整備や図	書司書機		
事業内容	図書館の管理運営、図書教育の指導補 整理、廃棄業務、教科用図書関係事務等 学校図書館の整備、充実を図っています	を行うため			
H 2 7 年度 の課題と 取組	の課題と				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
事務局	事業の効率性	0			
自己評価	面 【自己評価の根拠】 各小中学校に図書司書が配置できる人数を確保できたことにより、図書館の整備や読書活動の充実が図られています。また、朝読書や読み聞かせ等の読書活動を行うなど、組織的、継続的な読書活動の推進に努めています。				
すべての学校に図書司書を配置し、図書館教育担当教諭や司書教諭と連携しな 今後の がら、効率的・機能的な図書館運営の推進が図られました。図書館の整備や読書 方向性 活動の充実とともに、図書館が資料センターの機能を発揮することが求められて います。そのためにも、蔵書の整備に努めます。					
H28年度 の課題	読書活動推進のために、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数を60冊以上(週 2冊以上)の目標をたて、確かな学力と豊かな心を培います。そのために蔵書の 料件と8年度 教徒に努め、個の興味や月的に応じた本を手に取れるようにしていきます。また				

- ・図書司書13名配置はすばらしいことです。継続をお願いします。
- ・小学校低学年は、まず本を手に取るという工夫が必要です。
- ・今のマンガは理解力が必要です。飛び込みやすい、なじみやすいという点では、マンガを置いた方がよいのでは。

よいのでは。 -	
教育委員会評価	Α

(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

[32] 適応指導教室(れすとぴあ) (予算: 7, 812	(学校教	業 育課:教	務係 - 指	道区)
> -m // 1 /- /- /	2 T H	決算: 7	7, 767	
心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰を 支援し、不登校児童生徒数の減少に取組みます。教育相談、体験学習、教科学習、 集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるための助言、援助を 行います。				
		i応指導、	学校生活及	び社会生
【課題等】				
評価項目	A	В	С	D
事業の必要性	0			
事業の効果	0			
事業の効率性		0		
事務局 自己評価 適応指導教室に4名の適応指導教室指導員兼相談員を配置し、適応指導、教科 指導、教育相談等を行いました。平成27年度は適応指導教室(れすとぴあ)に 14名の生徒が在籍しました。中学3年生は7名在籍しており、完全な学校復帰 はならなかったものの、適応指導教室での教科学習等の指導の結果、7名とも高 校(通信制含む)へ進学しています。				
今後も継続して、学校と嘉麻市教育センターが連携しながら取組みを進めてい 今後の きます。特に、中学校の生徒については、高等学校へ進学するための学力保障等 方向性 の充実を図ることが必要です。また、不登校児童生徒に対し、適応指導教室に通 室できるよう働きかけを行う必要があります。				
室できるよう働きかけを行う必要があります。 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生徒への早期対応、不登校の解消・改善の取組みにより、適応指導教室への通室、チャレンジ登校や学校復帰ができるようになってきました。しかしながら、学習定着度や家庭背景等の個人の状況があるため、個別の支援計画・指導計画を作成し、確かな支援を実施します。				
	集団生活への適応指導、学校生活及び社行います。 教育相談、体験学習、教科学習、集団活にできるための助言、援助を行い 【課題等】 児童生徒が在籍する学校と関係機関とのさせるのです。 【課題をとが必要です。 【課題をとが必要です。 【課題をとが必要です。 【課題をとが必要です。 【課題をとが必要です。 、会校の解団生活への適応指導、教育相談が評価の必要性事業の効果事業の効率性 「適応教育相談等を行しました。中学校の生徒ではない。をきずらればないません。では、中学校の生徒に、まずで、会後も、中学校の生徒に、まずで、会後も、中学校の生徒で、ののとまずのできるよう働きかけを行う必要があり、そをできるよう働きかけを行う必要があり、ことがのようにより、というできるよう働きがけるの取組みによきるようして、学校の生徒に、まずで、大きなのないはないののというのでは、ことがは、ましたがは、ことがは、ことがは、ことがは、ことがは、ことがは、ことがは、ことがは、こと	集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適行います。 教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適活に適応できるための助言、援助を行います。 【課題等】 児童生徒が在籍する学校と関係機関との連携を強化させることが必要です。 【課題等への取組】 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向をかめ、集団生活への適応指導、教育相談等を行いまため、集団生活への適応指導、教育相談等を行いまため、集団生活への適応指導教室指導員兼相談等をの効果 事業の効果 事業の効果 事業の効果 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 適応指導教室に4名の適応指導教室指導員兼相談指導、教育相談等を行いました。中学3年生は7名在はならなかったものの、適応指導教室での教科学習校(通信制含む)へ進学しています。 今後も継続して、学校と嘉麻市教育センターが連接し、不登校児童生室できるよう働きかけを行う必要があります。 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校児童生室できるよう働きかけを行う必要があります。 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向を変によるようになってきました。しかしながの個人の状況があるため、個別の支援計画・指導計施します。	集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるが行います。 教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適応指導、等活に適応できるための助言、援助を行います。 【課題等】 児童生徒が在籍する学校と関係機関との連携を強化し、不登をさせることが必要です。 【課題等への取組】 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生徒登校の解消・改善に取組み、不登校傾向、不登校の児童生徒のきため、集団生活への適応指導、教育相談等を行いました。 評価項目 事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 適応指導教室に4名の適応指導教室指導員兼相談員を配置した。特導、教育相談等を行いました。平成27年度は適応指導教室14名の生徒が在籍しました。中学3年生は7名在籍しておりはならなかったものの、適応指導教室での教科学習等の指導なく通信制含む)へ進学しています。 今後も継続して、学校と嘉麻市教育センターが連携しながきます。特に、中学校の生徒については、高等学校へ進学するの充実を図ることが必要です。また、不登校児童生徒に対し、室できるよう働きかけを行う必要があります。 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生を登校の解消・改善の取組みにより、適応指導教室への通室、完養を復帰ができるようになってきました。しかしながら、学習の個人の状況があるため、個別の支援計画・指導計画を作成した。	集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるための助言行います。 教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適応指導、学校生活及活に適応できるための助言、援助を行います。 【課題等】 児童生徒が在籍する学校と関係機関との連携を強化し、不登校児童生徒させることが必要です。 【課題等への取組】学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生徒の学校復帰をため、集団生活への適応指導、教育相談等を行いました。 評価項目 ABC 事業の必要性 □ BBC 事業の効率性 □ BBC 事業の効率性 □ BBC 「自己評価の根拠】適応指導教室に4名の適応指導教室指導員兼相談員を配置し、適応指導、教育相談等を行いました。中学3年生は7名在籍しており、完全なはならなかったものの、適応指導教室での教科学習等の指導の結果、7校(通信制含む)へ進学しています。 今後も継続して、学校と嘉麻市教育センターが連携しながら取組みをきます。特に、中学校の生徒については、高等学校へ進学するための学の充実を図ることが必要です。また、不登校児童生徒に対し、適応指導室できるよう働きかけを行う必要があります。 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生徒への早期登校の解消・改善の取組みにより、適応指導教室への通室、チャレンジ校復帰ができるようになってきました。しかしながら、学習定着度や家の個人の状況があるため、個別の支援計画・指導計画を作成し、確かな施します。

『評価委員の意見』

- ・指導員の親身になった助言、援助を要求します。
- ・「れすとぴあ」に行くことによって、子ども、保護者が救われたと聞いています。大事な場 所です。

教育委員会認	平価
--------	----

(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

	, , = ,, , = ,,	711 310 3	. 731 12 4		
事業名 (予算・決算)	[33]教育相談推進事業 (学校教 (予算:5,40)			導係) 5,360	6千円)
目的	いじめや不登校、暴力行為などの問題を 的な知識や経験を有するスクールカウンを行い、スクールソーシャルワーカー(なって関係機関と連携をとりながら問題	セラー(臨 社会福祉士	床心理士》 :•精神保信	がカウン	セリング
事業内容	嘉麻市教育センターにスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを 配置し、不登校等の未然防止に向けて支援を行います。また、必要に応じて、保 護者や教職員等の教育相談を実施します。				
【課題等】					
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果				
	事業の効率性				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 平成27年度の嘉麻市教育センターにおける教育相談件数は35件でした。その他、学校からの要請を受け、児童生徒や教職員を対象に教育相談を行っています。また、いじめ・不登校への対応については、学校だけでは対応が難しい場合もあり、スクールソーシャルワーカーを中心として、関係課や児童相談所等の関係機関と協力しながら、問題解決にあたっています。 平成27年度のいじめの認知件数は15件であり、増加傾向にあります。また、不登校児童生徒数は52名であり、前年度比15名減でした。				
今後の 方向性	今後も学校と嘉麻市教育センターが連携し、いじめや不登校傾向の児童生徒へ の早期発見、早期対応、さらに、未然防止の取組みを進めることが重要です。				
H 2 8 年度 の課題	- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一				
『評価委員の					

『評価委員の意見』

・心を開かせ、生きる希望を持たせるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの 活動に期待します。

教育委員会評价	西
---------	---

(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事業名 (予算·決算)	[34] 学校支援相談員配置事業 (予算:7,329			務係・指 6,762		
目的	家庭にひきこもりがちな不登校児童生徒に対して、児童生徒の抱える心の問題を理解し、積極的に取組む意欲を有する訪問指導員を派遣し、ひきこもりがちな児童生徒やその保護者等の悩みや不安を解消し、適応指導教室への通室及び学校復帰を支援します。					
事業内容	事業内容 ・ 本登校及び不登校傾向の児童生徒宅を訪問し、適応指導教室への通室及び学 校復帰を支援します。			室及び学		
【課題等】 学校と嘉麻市教育センターが連携し、不登校傾向の児童生徒への早期対応、 不登校の解消・改善に取組み、年々増加している不登校児童生徒数を減少させる ことが必要です。 【課題等への取組】 現在学校支援相談員を3名配置し、家庭訪問等を行うことで、適応指導教室 への通室及び学校復帰への支援を行いました。						
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果					
	事業の効率性					
事務局 自己評価 現在、学校支援相談員を3名配置し、家庭訪問等の支援を行うことで、適応 指導教室への通室、学校復帰者の増加、欠席日数の減少等、不登校解消に向け ての成果は出ています。特に、平成23年度までは増加傾向にあった不登校児 童生徒数ですが、平成23年度:119名、平成24年度:109名、平成2 5年度:76名、平成26年度77名、平成27年度52名と減少傾向にあり ます。						
今後も不登校解消の取組みを組織的に行う必要があります。また、各学校に ち向性 も3ヵ年の目標設定を持たせ、平成29年度までには、市内小中学校不登校児 童生徒数35人以下を目指します。						
H 2 8 年度 の課題	不登校傾向の児童生徒への早期対応、 不登校児童生徒数を減少させることがでれない児童・生徒に対して福祉事務所等 強化します。	できてきま	したが、信	保護者の協	力が得ら	
『評価委員の	思兄』					

『評価委員の意見』

- ・気の長い訪問相談や保護者への話しかけを繰り返してほしいです。
- ・稲築地区以外にも配置してください。

教育委員会評価

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算・決算)	[35] 地域教育資源活用事業 (与 (予算:1,166			系・指導係 1, 054	•	
目 的	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域社会の現状を踏まえ、児童生徒の学習に協力することのできる地域の人材や施設を生かし、教育活動を行います。					
事業内容	専門的な知識や経験を持っている人から話を聞いたり、技術を見せてもらったりする体験は、子どもたちの学びを深める上で、たいへん効果的であり、地域の人材を外部講師として招き、農業体験や物づくり指導を推進します。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	の課題と					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		\circ			
	事業の効率性		0			
事務局 自己評価						
今後の 今後の 方向性 今後も人材バンクの積極的な活用を啓発するとともに、年間指導計画の見直し 及びゲストティーチャーの活用計画の作成、実施、評価を行える意図的・継続的 な学習を推進する必要があります。						
H28年度 地域の特性や学校の実態に応じて、地域資源を活用した学習展開を充実させる の課題 ために、環境教育推進の側面と連動性を持たせ、教育課程改善を進めます。						
『評価委員の意見』						

・地域の人材は豊富です。人材をフル活用する学校の要請が必要です。

教育委員会評価	В
---------	---

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算·決算)	[36] 学社連携融合事業 (生涯学習 (予算: 個別予			:個別予算	草なし)			
目 的	学校、家庭、地域が子どものために連携し、効果的に事業を取組めるよう良好な関係づくり、意識の共有・向上、共同で行う事業の推進を目指します。							
事業内容	学校、家庭、地域が一同に介し、子どもたちの健全育成のために意見交換を実施 し、その中で出された課題や意見に対し、具体的な事業にまで取組みます。(通学 路対策、あいさつ運動など)							
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 懇談会の定期的な開催により、学校・地域・家庭の情報共有が深まると思われますが、日程調整がうまくいかず、定期的な開催ができていないことが課題です。 【課題等への取組】 懇談会の開催方法に工夫を持たせ、地域の人の意見や学校の考えていることなど、お互いの意見交換ができやすい環境をつくっていきました。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	\circ						
	事業の効果		\circ					
	事業の効率性		0					
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市青少年育成住民会議が主体となり、学校・地域・家庭の連携した取組みが できたのではないかと思います。 これを継続することにより、地域への広がりが少しずつ広まるものと考えます。 また、地域によって課題が違う状況にあるので、地域ごとの活動により、地域に 根ざした取組みができていると思います。							
今後の 方向性	懇談会の定期的な開催をできるだけ行い、 わる人を一人でも多くし、地域全体に広げ [*]				交換に関			
H 2 8 年度 の課題	定期的な懇談会を開催することにより、お互いの意見交換による地域の情報を共有し、学校・地域・家庭の連携した事業への取組みになるよう支援していたいと思います。							

- ・多くの団体とともに、多くの機会を作り、地域の向上に努めてほしいと思います。
- ・地域全体に広げるには、いろんな組織を活用していく必要があると思います。

	教育委員会評価	В
--	---------	---

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

Alle		171 = M	^ *L **		, , =, ,		
事業名	[37]家庭教育支援事業 (生涯学						
(予算·決算)	(予算:	427千	円 決	算:38	1 千円)		
目 的	乳幼児から思春期の子どもを持つ保護者 提供することで家庭の教育力の向上を支援		きまざまな!	学習の機会	や情報を		
事業内容	家庭教育支援講座、親子がふれあえるミ する情報提供、地域における家庭教育支援			校等へ家庭	教育に関		
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 他の課・係等と連携できるよう情報交換等が必要です。 講座終了後にグループ活動できるような支援が必要です。 地域ボランティアの発掘・育成が必要です。 メディアの話については、継続していく必要があります。 【課題等への取組】 各種講座を通して、子育てスキルの向上とともに、育児ストレスの解消に繋げていきました。 外遊びの機会を提供することにより、子どもの生きる力を伸ばす効果とともに親子のふれあいの機会を作りました。 年間を通して、保・幼・小・中・高校に、メディアの話をする機会を増やし、より多くの幼児・児童・生徒・保護者に考える機会を提供していきました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局 自己評価の根拠】 各種講座を通して、子育てスキルが向上するとともに、育児ストレスの がったと思われます。 外遊びの機会を提供することにより、子どもの生きる力を伸ばす効果と 子のふれあいの機会を作ることができました。 年間を通して、保・幼・小・中・高校に、メディアの話をする機会が増 多くの幼児・児童・生徒・保護者に考える機会を提供できました。							
今後の 方向性	多くの保護者が参加する講座において、 していきます。	家庭教育に	三関する情	報提供の回]数を増や		
H 2 8 年度 の課題	していきます。 こども育成課、子育て支援センター、健康課(母子保健係)、スポーツ推進課などと連携し、事業展開を行います。 地域ボランティアの育成により、地域に根ざした家庭教育事業を展開します。 メディアの普及による、保・幼・小・中・高校生の生活状況の改善など、保護者を通した、メディアによる啓発事業を展開していきます。						

『評価委員の意見』

・事業の効果を図るため、保護者へのアンケートを実施し公表して下さい。

教	苔	盉	昌	수	評	柵
+X	_	ᅏ		$7\overline{5}$	пТ	ш

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •						
事業名 (予算·決算)	[38] 青少年健全育成事業 (生涯 (予算:3,81			系) 3,68(6千円)			
目 的	青少年の健全育成のための啓発活動並び の連携強化を図り、青少年の非行防止に努		進を図ると	ともに、関	係機関と			
事業内容	らの相談に対応しています。また、補導委	嘉麻市少年相談センターとして、関係機関と連携しながら少年並びに保護者等からの相談に対応しています。また、補導委員を委嘱しており、連携しながら登下校時の子どもの安心安全を守る活動を行いました。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 電話相談の件数は少ない状況にありますが、相談の内容によっては、学校教育課など関係機関と連携を密にし、事件事故防止に努める必要があります。 定期的な市内巡回を継続し、非行防止と不審者等からの安全を守る必要があります。 【課題等への取組】 電話相談については、学校教育課など関係機関と連携しながら対応することにより、いじめ等の早期発見・対処に繋げていきました。 相談員の定期的な市内巡回と、補導委員による立番により、不審者から安全を守ることに繋げていきました。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価 電話相談については、学校教育課など関係機関との連携しながら対応する。 より、いじめ等の早期発見・対処に繋がっていると思われます。 相談員の定期的な市内巡回と、補導委員による立番により、不審者から安全								
	電話相談については、学校教育課など関 より、いじめ等の早期発見・対処に繋がっ	ていると思	思われます	0				
今後の 方向性	電話相談については、学校教育課など関より、いじめ等の早期発見・対処に繋がっ 相談員の定期的な市内巡回と、補導委員	ていると による立 及び保護者 連絡協議会	思われます 番により、 音等からの 会の委員交	。 不審者から 相談に対応	安全を守			
	電話相談については、学校教育課など関より、いじめ等の早期発見・対処に繋がっ相談員の定期的な市内巡回と、補導委員ることに繋がっていると思われます。 嘉麻市教育センターと協力し、児童生徒う連携を強化します。また、少年補導委員	ていると による立る 及び保護者 連絡協議会 に努めます。 教育センタ	思われます 番により、 音等からの 会の委員交 す。 ターとの連	。 不審者から 相談に対応 代もあり、 携・協力に	安全を守 できるよ 処遇の改 よる少年			

- ・関係機関との連携強化を期待します。

教育委員会評価	В
---------	---

(6) 男女共同参画教育の推進

事業名 (予算·決算)	[39] 学校における男女共同参画推進事業 (学校教育課:教務係・指導係) (予算:個別予算なし 決算:個別予算なし)						
目 的	男女共同参画の意識づくりをする上で、家庭や学校・地域での教育が重要であり、「嘉麻市男女共同参画推進条例」の理念に基づき、男女共同参画の趣旨や必要性について教育を通して意識改革と啓発を促進します。						
事業内容	学校教育の場においては、指導者の共通認識のもとに男女平等の教育の体制を つくり、男女平等の視点から習慣・行事等の見直し、固定的性別役割分担にとら われない指導を進めます。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 学校教育では男女共同参画の学習は進んできていますが、性に関する内容の研修を進める必要性があります。 【課題等への取組】 各学校の実態把握を行い、改善するための手立てを校長会議等を活用し、継続指導を行います。また、校内研修において年1回以上の研修の実施を進めます。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
事務局	事業の効率性			0			
自己評価	【自己評価の根拠】 男女混合名簿の活用や学級役割分担等を、児童生徒の意欲や適正で決定している実態があります。職員研修では、管理職が中心となり行っていますが、研修の実施率は、中学校100%に対して小学校37%と、小学校に課題が見られます。						
今後の 方向性	市内13校での校内研修の確実な実施	で性に関す	する指導を	推進します	۲.		
H28年度 市内13校の研修実態の把握並びに研修内容の把握を行います。また、市内の の課題 全教職員を対象とした性に関する研修会を開きます。							
『評価委員の意見』 ・事業推進をお願いします。 ・パンフレットの作成を早急にお願いします。							
教育委員会評価B							

(6) 男女共同参画教育の推進

± 444. 55	[40]地域社会における男女共同参	画推進事	業			
事業名 (予算·決算)		(<u>*</u>	上涯学習記	果:社会教	教育係)	
(1 31 // (31)	(予:	算:8 1 -	千円 🥻	決算:8	1千円)	
目 的	身近に生活する地域社会において、残っ く慣習・慣行の見直しや男女共同参画の啓					
事業内容	男性保護者向け講座を開催することにより、家庭教育における重要性や責任を自覚し、男性の家庭教育力の向上を目指します。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 少子化や核家族化により、家庭で行う教育の負担が母親にかかることが多く、男性の家庭教育における重要性や責任を自覚させ、男性の教育力向上を目指します。 【課題等への取組】 ままごとキッチンを作る講座を子どもと男性保護者向けに開催し、男性の家庭教育への参画や、母親にかかる負担等を理解し、男性の家庭教育力の向上の取組みを行いました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
車務目	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 ままごとキッチンを作る講座を子どもと男性保護者向けに開催したところ、10 組限定の募集であったが、40組を超える応募があり、関心の高さが伺えました。 参加者のことを考え追加講座を実施し、合計29組の参加があり、男性保護者向け に子育てに関する情報や学習機会の提供を行う事ができました。					
今後の 方向性	男性保護者向けの講座については、継続して事業を実施し、男性の家庭教育への 参画と子育てに関する情報や学習機会の提供を行っていきます。					
H28年度 の課題	保護者のニーズに対応するとともに、男 催し、男性保護者にアプローチを行ってい				講座を開	
<u> </u>						

『評価委員の意見』

- もう少しPRが必要です。
- ・男性保護者向け講座、男性の家庭教育力向上とありますが、男女共同にどうもって行くかが 課題と思います。

+/_	_ _	ᆂ		^	==:	/
教	育	奒	貝	云	評	伳

(1) 生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
事業名 (予算・決算)	[41]社会教育関係団体等育成事業 (予算:個別 ⁻			士会教育係 :個別予算		
目 的	社会教育関係団体等の育成とその活動の 等の自立支援及び人材(指導者)の育成を			各社会教育	関係団体	
事業内容	社会教育関係団体をはじめ、各種の関係団体が自主的な団体の運営や事業展開が 図れるよう指導助言等支援を行っています。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 社会教育関係団体の支部の活動について差異があるため、市全体での活動や事業の取組みの支援はもちろん、支部活動の活性化についても支援を行う必要があります。 【課題等への取組】 社会教育関係団体も合併から10年がたち、支部の垣根を越えた取組みが展開されるよう、嘉麻市青少年育成住民会議・嘉麻市文化協会・嘉麻市子ども会指導者連合会等、各社会教育関係団体に対し支援を行いました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
	事業の効率性		0			
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市の地域づくり、教育力向上のためには、社会教育関係団体を始めとする地域の力が必要です。その活動が自主的かつ効率的に運営ができるよう支援を行いました。 嘉麻市青少年育成住民会議や嘉麻市文化協会、嘉麻市子ども会指導者連合会等、各社会教育関係団体より、新たな事業展開や参加者の確保など、活発な活動が行われました。					
今後の 方向性	社会教育関係団体の、行政と協働した事 の支援を行っていきます。	業の展開の	D継続と、	自主的運営	・活動へ	
H 2 8 年度 の課題	社会教育関係団体の、支部を超えた活動 きるよう支援を行っていきます。	の推進及で	・ 自主運営	・自主活動	を展開で	
『評価委員の意見』 ・他市を参考にされて、さらに高いところに視点を当てて育成してほしいと思います。						

・合併後10年経過。統一された活動展開されることを望みます。

教育委員会評価	В
---------	---

(1) 生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算·決算)	[42] 社会教育関係団体活性化 (予算:5, 4			兴:社会教 5, 3 5 3			
目的	地域の教育力向上と生涯学習社会の確立の推進、住民主体の地域づくりの促進に 努めます。						
事業内容	団体の申請に基づき、稲築吹奏楽団、嘉麻市青少年育成住民会議、いなつき山笠 実行委員会、民俗的伝統行事保存団体3団体(碓井地区:飯田地蔵祭、西郷奉納相 撲、上臼井地区神楽)、嘉麻市子ども会指導者連合会、嘉麻市文化協会、嘉麻市 P TA連合会の9団体に補助金を交付します。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 各団体共に団体の活動目的に沿った活動を行っているものの、会員数の減少や高齢化など、活性化への取組みが課題です。 【課題等への取組】 地域間の交流事業を行うことや、各支部の事業へ参加を促すことにより、新たな人材の確保など各団体の活性化へ繋げていきました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
	事業の効率性		\circ				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 交付要綱に則った補助金交付も含め、社会教育関係団体が、自主的に運営するための支援を今後とも行っていく必要があります。 地域の垣根を越えた事業を開催するなど交流を行うことや、各支部の事業への参加を促すことにより、新たな人材の確保など、各団体の活性化へと繋げていきたいと思います。						
今後の 方向性	各団体に補助金を交付し、補助金の 涯学習の機会を提供していけるよう、				に広く生		
H 2 8 年度 各団体が実施している各種事業を、いっそう活性化するような支援を行っていく の課題 必要があります。							
『評価委員の ・地域力の	意見』 促進を図っていただきたい。						
教育委員会評価							

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

	(2) 丁目1/2				17117/22	
事業名	[43]社会教育施設整備事業 (生涯	学習課:	社会教育	育係)		
(予算・決算)	(予算:69,394千	一円	央算:6 7	7, 188	3千円)	
目的	社会教育施設が市民の生涯学習の拠点となるよう、利用者のニーズに応じた計画的な保守管理を行い、施設を運営(維持管理)します。					
事業内容	社会教育施設として、なつき文化ホール・嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ・ 上山田住民ホール・山田市民センター・下山田小学校白馬ホール・山田生涯学習館、 稲築住民センターの運営、維持管理を行います。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 生涯学習の拠点として、社会教育施設の表切に実施し、効果的な維持管理に取り組む 【課題等への取組】 子ども会事業、通学合宿事業、青少年健全会教育施設で開催するとともに、市民の生活行いました。	ことが必要 全育成事業	ぞです。 :等の教育3	5員会関連	事業を社	
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
事務局	事業の効率性		0			
自己評価	【自己評価の根拠】 地域の方々が生涯学習に取り組めるよう、適切な施設管理に努めています。職員 でできることは職員で行い、できるだけ維持管理費用を抑える工夫をしています。					
施設及び備品の管理・改修・整備・保守については、随時行っていますが、今後も市民サービスが低下しないように、適切な維持管理に努めます。 耐震補強については、嘉麻市耐震改修促進計画に基づき、市内にある公施設全体での検討がなされており、担当課にて協議されています。また、行政改革に伴う施設の見直しも今後の検討課題です。				施設全体		
H28年度 の課題	生涯学習の拠点として利用しやすいよう? サービスの向上に努めます。	効率的な維	挂持管理 運	営を行うと	ともに、	
『評価委員の ・地域のバ	意見』 うつきの無いように、サービスの向上と利用	しやすい	受備に心が	けていたた	 ごきたい。	

教育委員会評価

В

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

	(2) 学習村	及五りルク	(// U) E		1711///
事業名 (予算·決算)	[44] ボランティア人材バンク事業 (予算:個別:				
目 的	知識、技能、資格等を有する人に人材が 援や地域づくりに貢献してもらいます。	ンクに登録	录してもら	い、生涯学	習活動支
事業内容	仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人に名簿登録をしていただき、学校や地域のあらゆる活動場面で、その培った経験、技術等を活かし地域に還元する『知の循環型社会』の構築を目的としています。なお、社会教育係に配属されている地域活動指導員が人材の発掘、ボランティア活用依頼先とのコーディネートを行います。また、27年度は生涯学習課事業等でも活発に活用し、より多くの方々が活躍できるように取組みました。登録者数 337名 143団体 派遣者数 290名 86回 受講者数 7,869名(人材バンク事業で受講した人数)				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 年度 登録者によって、派遣の回数に差があるため、人材の活用にバラつきがあります。 題と 【課題等への取組】				
	評価項目	А	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
i de la companya de	サ 木の刈木				
事 終局	事業の効率性			0	
事務局自己評価		あい、子と の必要性(さもたちへ は高いと思	り、地域の の特別な授 われます。	
	事業の効率性 【自己評価の根拠】 学校だけでなく、保育所・幼稚園等でも 育力向上、子どもたちと地域の方々のふれ など、様々な効果があり、人材バンク事業	が、子と まの必要性に お後の課題を いますが、派 、地域や関	もたちへい は高いと思 となりまし K遣回数、 関係団体等	り、地域の の特別な授 われます。 た。 受講者数は へのニーズ	業の実施減少しての把握や
自己評価 今後の	事業の効率性 【自己評価の根拠】 学校だけでなく、保育所・幼稚園等でも育力向上、子どもたちと地域の方々のふれなど、様々な効果があり、人材バンク事業登録者の研修会の開催が調整できず、会人材バンク登録者は少しずつ増加しています。保育所・幼稚園・学校だけでなく周知活動が必要です。	あい、子と まの必要性に 後の課題と いますが、が 、地域や関 で流を深める。 ため、地域	i もたちと思 は高いまし K遣回数、 関係団体等 る場の設 はや団体等	り、地域ののわれます。	業の実施減少しての把握や

- ・人材バンクの制度内容を見直してはどうでしょうか。

教育委員会評価	В
---------	---

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

	(2) 子自1:	χΔ V JÆ I	八灰〇丁日				
事業名	[45]生涯学習推進事業 (生涯学	習課:社会	会教育係)				
(予算・決算)	(予算:28, 976·	千円 :	決算:28	8, 16	5千円)		
目 的	職員並びに地域活動指導員の資質向上を図り、市民のニーズを把握し、生涯学習・社会教育の推進を図ります。						
事業内容	社会教育委員の会議及び課内会議等の開催、職員・地域活動指導員の研修会や社 会教育主事の養成など関係職員の資質向上に努めます。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 職員数適正化計画により、各課の職員数が削減される中、社会教育に精通した人材の育成を行うことで、嘉麻市の生涯学習・社会教育の向上を目指します。 【課題等への取組】 生涯学習・社会教育の推進のための研修会に積極的に参加し、職員及び地域活動指導員の資質の向上に努めました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局自己評価	事務局 【自己評価の根拠】						
今後の 方向性	人事異動や職員適正化計画により、人員 育に精通した人材育成を計画的に行うこと す。また、事業内容の整理も検討課題です	で、生涯		. —			
H28年度 の課題	行政改革による人員削減や、事業効率の 指導員の資質の向上に努め、地域や市民へ						
	÷ = 1						

- ・本人の職業意識と資質向上のため、研修を実施してください。
- ・人員削減や事業効率が叫ばれているのは行政だけではありません。行政そのものの資質向上 を図ってください。

教育委員会評価	Α

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事業名 (予算・決算)	[46] 青少年体験活動推進事業 (生 (予算:9			育係) 1:876	6千円)	
目 的	様々な子どもたちに、生活体験や自然体験活動を通して、生きる力や社会性・自主性等、基本的な生活習慣の確立を目指します。					
事業内容	子どもの基本的生活習慣の確立を目指し、実行委員会と連携し実施している『通 学合宿事業』、小学生が題材に沿ってエッセイを書く『わたしのエッセイ事業』な ど、子どもの体験活動を実施しました。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 地域ボランティアの固定化や高齢化が課題参加者が少ない地区があるため、募集時間 【課題等への取組】 ボランティアの新たな人材への呼びかけた。	こ工夫が必	要です。	ヹ゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙ひかけをイ	行いまし	
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性		0			
事務局 自己評価 子どもたちの生きる力などの習得のためには、様々な体験をさせることが必 す。行政が主体的に取り組むのではなく、地域の方々との関わりにより、子の効果は高まると思います。また、受講生がサポーターとして、合宿生の話をするなど、地域リーダーとしての育成も行っています。 「わたしのエッセイ」事業には、1,277点の応募がありました。				子どもた		
今後の 方向性	各地区で展開されている「通学合宿」活動 きるよう努めます。そのためには、地域ボーの育成が必要です。					
H28年度 の課題	実行委員会や子ども会などと連携を深め、 多くの地域の方とともに、生活体験等の活動 成を推進していく必要があります。					
『評価委員の	意見』					

・ボランティアを募集するとき、具体的な内容を示して募ってみてはいかがでしょうか。

教育委員会評価

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

	「こことの一	<u> ДДVIÆI</u>	八人〇丁日		1/11 NC XE	
事業名 (予算・決算)	[47] 公民館・分館等の連携強化推 (予算:38,257:	(生涯学		央公民館係 3, 64(
目 的	各地区公民館の利用者が安心して気持ちの拠点として機能するよう、施設の維持管			るよう、ま	た、地域	
事業内容	分館及び自治公民館の情報共有と協同を ど意見交換の場を確保しながら、共通理解 ことで、組織の統一化を図ります。					
	【課題等】 各地区における実情の把握に努めるとと 計画的に行いながら、地域活動等の支援に あります。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等への取組】 地区公民館、分館、自治公民館の修繕やや協同を図るため研修会等を開催しました各地区館長会議(分館、自治館) 7回福岡県公民館大会参加者和地区公民館研究大会参加者福岡県公民館実践交流会参加者、豊地区公民館研修会参加者嘉麻市公民館職員等研修会参加者補修・修繕(地区・分館・自治)	:。] 公 f 17名 f 13名 f 18名 f 13名				
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		\circ			
	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市としての公民館の基本方針(案)を作成するまでは至っていませんが、今 後の活動範囲や内容を考えると、現行の組織体系のままでは、地域の活性化は図れ ないと考えます。そのためにも、早期に市の方向性を明確にするとともに、様々な 関係者の意見等をいただきながら、公民館基本計画を策定していかなければならな いと考えていますので、その手順等を十分に協議しながら進めていくよう努めてい きます。					
今後の 方向性	嘉麻市公民館の基本方針を明確にし、組 化に向けた取組みを行っていく必要があり た施設が多いことからも、施設改修等の年)ます。ま <i>†</i>	た、経年劣	化、耐用年	数を超え	
H28年度 の課題	各地区における実情の改善を図っていく (案)を作成し、様々な意見を収集しなが ないと考えています。					
『評価委員の ・公民館の	意見』 基本計画を早急に決定し、それに則って更	なる活動の)活性化を原	頭います。		

教育委員会評価

В

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

	[48] 分館及び自治公民館等活動	書補 助事業	<u> </u>	1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	17137/2/2
事業名 (予算·決算)	[40] 万颇及0"日沿五风烟节沿来			中央公民的	官係)
()′异` (仄异/	(予算:14,74;	3千円 :	決算: 1	4, 27	2千円)
目 的	分館及び自治公民館への各種補助を行 ます。	い、地域コミ	ミュニティ	の拠点づく	りを図り
事業内容	分館運営費補助金、自治公民館活動補 館付属施設設置補助金、自治公民館新築 きるよう地域コミュニティの拠点として	補助金を交付	寸し、様々		
	【課題等】 公民館活動や運営に対し各種補助金を の拠点としての運営の支援を行っていま いる施設と町内会にて管理している施設	すが、行政	(市長部局	を含む)が	管理して
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等への取組】	た、各種補助 いと考えます 12, 952 円 03, 900 円 75, 000 円	めの交付基		
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
	事業の効率性		0		
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市としての公民館の基本方針(案)を作成するまでは至っていませんが、今 後の活動範囲や内容を考えると、現行の組織体系のままでは、地域の活性化は図れ ないと考えます。そのためにも、早期に市の方向性を明確にするとともに、様々な 関係者の意見等をいただきながら、公民館基本計画を策定していかなければならな いと考えていますので、その手順等を十分に協議しながら進めていくよう努めてい きます。				
今後の 方向性	嘉麻市公民館の基本方針を明確にし、 化に向けた取組みを行っていく必要があ た施設が多いことからも、施設改修等の	ります。また	た、経年劣	化、耐用年	数を超え
H28年度 の課題	各地区における実情の改善を図ってし (案)を作成し、様々な意見を収集しな ないと考えています。				
『評価委員の ・公民館の	意見』 基本方針を早急に決定してください。 				
	教育委員会評価		B		

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

		幾会の提供	()	4774214 - 74		
事業名 (予算·決算)	[49] コミュニティ活動支援事業 (予算	(生涯学 :388 -		央公民館 (夬算: 2:		
目的	地域と公民館の「協働」による公民館運 る人たちと、公民館の新たな可能性を模索 ットワークの構築を図ります。					
事業内容	地域ぐるみで青少年健全育成に努めると の向上を図ることを目的に行われる地域の 支援します。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 地域・学校・行政の協働での事業の推進 図る必要があります。また、地域ぐるみで域の大人も子どもと関わることで互いにつがあります。 【課題等への取組】 各地区で開催されている事業の支援を行ふるさと探検隊 ときめき学習(大隈・宮野・足白・千	青少年の優 ながりを さ いま し 延 延 べ ・ 手	全育成に gめ、地域 10回 159 19回 512	努めるとと 力の向上を 名参加 13 名参加 36	もに、地 図 の る 協 力 3 名 協 力	
	評価項目	A	В	С	D	
		0				
	事業の効果		0			
	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 公民館運営には地域住民の参画なしには考えられず、現在の公民館を取り巻く状況は非常に厳しく、地域コミュニティを構築、活性化していく上でも、公民館の役割はますます重要視されています。 ひろば事業をはじめとする青少年健全育成事業は、地域・学校・行政の協働での推進が必要不可欠であり、組織の強化はもちろんのこと、統一した認識の下での取組みが図られなくてはならないと考えます。					
	ひろば事業をはじめとする青少年健全育	ちろんのこ				
今後の 方向性	ひろば事業をはじめとする青少年健全育 推進が必要不可欠であり、組織の強化はも	ちろんのこ。 ・ するととも	と、統一	した認識の	下での取動等を広	
	ひろば事業をはじめとする青少年健全育 推進が必要不可欠であり、組織の強化はも 組みが図られなくてはならないと考えます 各地区で行われている事業・活動を支援	ちろんのこ。 するととも 築をはじる 」の開催に	と、統一	した認識の ぐるみで活 向上を図り	下での取 動等を広 リます。	
方向性 H28年度 の課題 『評価委員の	ひろば事業をはじめとする青少年健全育 推進が必要不可欠であり、組織の強化はも 組みが図られなくてはならないと考えます 各地区で行われている事業・活動を支援 げていきながら、地域コミュニティの再構 嘉穂地区以外の地区での「ときめき学習 けながら、準備に努めていきたいと考えま	ちろんのこ。 するととも 築をはじる 」の開催に	と、統一	した認識の ぐるみで活 向上を図り	下での取 動等を広 リます。	

教育委員会評価

B

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

	(と) 子白物			17702 C-77	1713762
事業名	[50]公民館事業 (生涯学習課:「	中央公民的	官係)		
(予算·決算) ————————————————————————————————————	(予算: 1, 68)	6千円	決算:	1, 45	6千円)
目 的	地域住民の生活に根ざした教育・文化に 互の交流と教養の向上、健康増進など生き				、住民相
事業内容	市民の生涯学習活動の発表の場として、 いの場、交流の場を地域住民とともに行い		生化を図る	ため、地域	住民の集
H 2 7 年度 の課題と 取組	クリスマス会 参加	E脱却よう ままずる たする たする で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	がらます。 注化 名名名名名 名名名名名 からます。 は 名名名名名 がめます。 1 名名名名名 1 名名名名名 1 名名名名名名 1 名名名名名名 1 名名名名名名 1 名名名名名名 1 名名名名名名名 1 名名名名名名名 1 名名名名名名名 1 名名名名名名名名 1 名名名名名名名名	民への周知 ため、地域 率7 2 . 6 ⁰	徹底に努
	評価項目	A A	В	C C	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
			0		
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】	<u>l</u>	<u> </u>	1	
	公民館講座をはじめとする各種事業は、 を提供することにより、個々に学ばれたこれ、地域コミュニティの活性化に繋がると そのためにも、嘉麻市公民館のあり方に 民館利用者の拡大、講座内容の充実に努め	ことが市民 考えている ついてのプ	参画といます。 ます。 5向性を見	う形で地域 出し、各地	に還元さ
今後の	を提供することにより、個々に学ばれたこれ、地域コミュニティの活性化に繋がると そのためにも、嘉麻市公民館のあり方に	ことが市民 考えている ついてのプ ていかない	参画といます。 5向性を見 ければなら	う形で地域 出し、各地 ないと考え	に還元さ !区での公 !ます。
今後の 方向性	を提供することにより、個々に学ばれたこれ、地域コミュニティの活性化に繋がると そのためにも、嘉麻市公民館のあり方に 民館利用者の拡大、講座内容の充実に努め	さいが市民 考えている ついてのが でいかない 涯学習の持	参画といます。 方向性を見 ければなら t進(住民	う形で地域 出し、各地 ないと考え 主体での <i>J</i>	に還元さ B区での公 Lます。
	を提供することにより、個々に学ばれたこれ、地域コミュニティの活性化に繋がるとそのためにも、嘉麻市公民館のあり方に民館利用者の拡大、講座内容の充実に努め各種事業や講座を通してのふれあい、生まちづくりの展開)を他の関係機関・部署地域住民のニーズの把握を行うよう、ア方についての方向性を見出し、公民館基本す。	さとが市民考えている ついてのかない たいかない 涯学習の 持と連携しる	参画といます。	う形で地域 出し、各地 ないと考え 主体でのノ に努めます 今後の公民	に還元さ B区での公 たます。 しづくり、 た。 館のあり

- ・各事業、講座を継続して、健康増進、文化教養の向上、市民の充実感の育成のために、事業を推し進めることを希望します。
- ・公民館の基本方針を早急に決定してください。

教育委員会評価	В
---------	---

(3)図書館の利用促進

事業名	│ │[51] 図書館施設管理運営事業 ((生涯学翌		(給区)		
● 未 在 (予算・決算)	(予算:91,411			9, 90	6壬四)	
	() , 4 . 3 1, 4 1 1	111	八 并 . 0	9, 90	0 1117	
目 的	図書館を適切に管理運営することによ かつ安心して利用できる場を提供するこ			・充実を図	り、快適	
事業内容	施設の維持管理、資料の保存、システ 資料提供サービスの円滑化を図っていま ・施設及び図書館システムの維持管理 ・配本車の巡回 ・移動図書館車の	す。 ▪ 資料	の選書等の			
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 図書館利用者が固定化している現状がRし、図書館の存在をアピールすることます。 【課題等への取組】 フェイスブック等のSNSによる情報:図り、図書館未利用者に向けての情報発作立保育園に巡回することで、今まで図書館し、読書に親しむ機会を提供できました。	で新たな和 発信を行い 言を行いま 官に来ること	刊用者の獲 、図書館事 した。また	得を図る必 業の積極的 、移動図書	公要があり りな周知を 書館車を私	
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 4つの図書館は、それぞれの地域にお の嘉麻市民が利用できる施設であり、「地 います。平成27年度の市民一人当たり せんでしたが、利用者数は増加傾向にあ 車の巡回により、新たな市民の利用に繋	地域の知の の貸出冊数 りますので	処点」とし 対は5.4 ご、配本車	ての役割を	を果たして には及びま	
今後の 方向性						
H 2 8年度 の課題	稲築図書館の老朽化による対策は言う においても建築から十数年を経過してい 設の長寿命化に向けての対策が急務とな	るため、雨	雨漏り等が			

『評価委員の意見』

- ・てんとうむし号(移動図書館車)によって、利用者が増えています。あと1台あってもいい のではないでしょうか。
- ・図書館の持つ使命ともいうべき図書館憲章を掲げ、その理念を元に図書館運営を行っていることを表してはどうでしょうか。

教育委員会評価

(3)図書館の利用促進

市坐夕	│ │[52] 読書活動推進事業 (生涯学	双锤 . 図:						
事業名 (予算·決算)				答	4 T M \			
(3.51 (3.45))	(丁昇:	575千月	力 决.	异: つ /	4十円)			
 目 的	おはなし会、読書講演会等を開催するこ		て、市民の	D読書活動	を推進し、			
	図書館利用を促進することを目的とします	f .						
	赤ちゃんからお年寄りまで、様々な年代に対応じた読書活動推進事業を実							
事業内容 ています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
	・おはなし会・工作会・古典文学講座・読書講演会・ブックスタート事業 【課題等】							
	参加者が固定化してきていることや、	講座内容に	よっては	、参加者数	対に差がで			
1107年帝	ています。市民ニーズを把握し、事業の	内容や開催	日時等、	検討を行う	必要があ			
H 2 7 年度 の課題と	ります。							
取組	【課題等への取組】	++>	ヘハナは	フじま法の	n			
	参加者が少なかった地域の児童向けおに あった工作を取り入れた内容としたことや							
	加しました。	(MIE HE	, e & C U	7. C C C 9	//II			
	評価項目	А	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果	0						
	事業の効率性		\circ					
事務局	【自己評価の根拠】							
自己評価	図書館の利用を促進するためには、ま	するためには、まずは図書館の存在を知ってもらうことが						
	大切であり、そのきっかけづくりとしての図書館事業は重要と考えています。図							
	書館事業への参加を通じて、子ども達への読み聞かせを始められる保護者や、読							
	書に親しむことを知る子ども達が増えています。また、参加者と図書館職員との 交流が深められ図書館利用に繋がっています。ブックスタート事業につきまして							
	は、99.6%と目標を上回る結果となっ			「事本に」				
	図書館が市民にとってより親しみやす			、図書館事	 業を積極			
	的にPRしていきます。また、事業内容については、利用者のニーズの把握に努							
今後の	め、検討していくこととします。							
方向性	また、ブックスタート事業につきまして							
	さを保護者に伝えるために、関係各課の	協力をいた	:だきなが	ら、実施薬	≤ 100%			
	を目指します。	- 44 + 1± 1-	461- 5 -	L 7 N = 1	\$+ U + +			
H 2 8 年度	参加されたことのない市民に図書館事が、広報嘉麻の記事スペースの制限や回り							
の課題	か、広報器麻の記事スペースの制限や回! 用者に対する新たな周知方法を検討する。			いめりょし	3音			
『評価委員の		3 × 10 00 7	<i>5</i> / 0					

『評価委員の意見』

- ・図書館利用者を増やすためにはPRが必要です。ケーブルテレビ等も活用してください。
- ・読書は、まず本を手にすることから始まると思います。「乳幼児健診時の読み聞かせ」、とてもすばらしいと思います。

+/L		포		$\mathbf{\Lambda}$	評	1-11
类灯	\Rightarrow	委		\simeq	=11	4m
一人	_	ऋ	豆	\mathbf{z}	-	ΙШ

(3)図書館の利用促進

事業名 (予算·決算)	[53] 読書ボランティア養成事業 (予:	(生涯学 算:64 ⁻		書館係) 決算:6~	4 千円)			
目 的	図書館事業の推進に必要不可欠な図書ボランティアの養成、活動支援を行うことを目的とします。							
事業内容	ボランティア養成講座の開催、ボランティアサークルの活動支援、嘉麻市図書 ボランティア連絡協議会の活動支援を行っています。 ・読書ボランティア研修 ・シニア向け絵本の読み聞かせ講座 ・嘉麻市図書ボランティア連絡協議会(総会、研修会開催支援等)							
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 現存するボランティア団体が高齢化等により活動が停滞している現状があり、 新たなボランティアの養成が喫緊の課題です。講座の受講を通して、ボランティア活動の参加に繋がるようなフォローアップの取組みが必要です。 【課題等への取組】 シニア層にターゲットをあてた入門講座を開催することで、新たなボランティアの獲得を図りました。また、受講者がボランティア活動に参加しやすい形の図書館事業を28年度に実施します。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果	\circ						
	事業の効率性		0					
事務局 自己評価 読書推進を図る上で、ボランティアの協力は必要不可欠です。ボランティアの協力のもと事業を実施することで、世代間交流が図られ、利用者の裾野を広げることができています。27年度のボランティア活動参加者数は53名であり、目標を下回っておりますが、講座受講者の中から新たに6名の方がボランティア活動を希望されています。								
今後の 方向性	各種講座を開催することで、既存ボランティアの資質向上を目指し、新規のボランティア開拓を図り、個々人に応じた形でのボランティア活動に対し支援を行うことで、ボランティアとの協働による図書館事業の拡充を図ります。							
H28年度 の課題	講座受講者が、継続してボランティア ーアップの取組み及び支援が必要です。	活動に参加	コしていた	だけるよう	なフォロ			

『評価委員の意見』

- ・ボランティアのフォローアップの取組み強化をお願いします。
- ・参加しやすい事業を計画してください。

教育委員会評価

〇重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(1)スポーツによる地域の活性化

事業名 (予算・決算)	[54] スポーツコミュニティ創造事業 (スポーツ推進課:プリ (予算:8,216	ロジェク	-				
目 的	スポーツと健康運動を通じて、市民一人ひとりのる る市民の主体的な活動を促進し、地域力が向上する			とともに、	地域におけ		
事業内容	スポーツの社会的意義の重要性を広めるとともに、スポーツを通じた地域の主体的かつ継続的な取組みを促進するため次の事業を実施します。 ①スポーツ推進委員・指導者を派遣します。 ②スポーツに関する身近な情報を提供します。 ③スポーツサークルの設立を支援します。 ④誰もが参加できるスポーツ教室を開催します。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	 【課題等】 ①スポーツ推進委員・指導者が地域のスポーツコーディネーターとなるよう、より地域に密着した事業展開が必要です。 ②市民ニーズに応える情報をすばやく提供することが必要です。 ③地域主体によるスポーツサークルの増加が必要です。 ④既存のスポーツ教室における参加者層の偏りや固定化の解消が必要です。 【課題等への取組】 ①スポーツ推進委員による各小学校学童保育所に対する出前講座を実施しました。 ②市民に提供する情報を整理し、提供方法をマニュアル化するとともに、スポーツに関する市のホームページを作成しました。 ③モデル地域における継続的なスポーツ活動の支援を検討しましたが実施には至っていません。 ④託児付の教室を開催し、参加者層の偏りや固定化の解消を図りました。 						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性	0					
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 少子高齢化の進展や地域コミュニティの繋がりのよっの活性化のためのツールとしてスポーツへの期待する計画においても、スポーツによる地域社会の再で、事業の必要性はA評価としています。 27年度はスポーツ推進課ホームページを開設しスポーツ推進委員の派遣は少人数の派遣に努めながを実施し、延べ600人を超える児童に対して体を導員の運動教室では子育て世代の参加の増加が図れいます。	が高まってし 事生が重要施 、情報提供 <i>0</i> ら、各小学校 動かす楽しさ	います。国や 策として位 D方法と内容 をの学童保育	福岡県のス語づけられるの充実が図所出前講座にとができ、	ポーツに関 ていますの れました。 に運動指 地域活動指		
今後の 方向性	地域の主体的なスポーツ活動を促進し、地域コミ 嘉麻とスポーツ推進課ホームページを活用し、スポー 員と地域活動指導員の指導スキルの向上を図りなが	一ツの魅力を	伝えるとと	もに、スポー	ーツ推進委		
H 2 8 年度 の課題	地域コミュニティの活性化のモデル地区を指定し 住民や市関係各課の役割を検証することが必要です。	-	を通じた活性	生化事業を試	 行し、地域		

『評価委員の意見』

・スポーツサークルの減少、もう少し育成できないでしょうか。

教育委員会評価

〇重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(1)スポーツによる地域の活性化

事業名 (予算・決算)	[55] スポーツ大会誘致・スポーツ大 (スポーツ大 (予算:個別語	ポーツ推済	進課:施	没管理運 : 個別予算			
目 的	スポーツに関係する多くの人が嘉麻市を訪れ、スポーツを行い、観るとともに地域の人々と交流し、本市の豊富な自然環境と観光資源に触れ、親しんで帰ってもらうことで、地域活性化に繋げることを目的とします。						
事業内容	スポーツ大会やスポーツ合宿の機会を活用するため、関係機関と連携して特産品販売などPRの場を設け、交流人口の増加と地域の活性化に繋げます。また、大会の支援を行い、市民の運営や企画への参加を促します。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 関係機関との連携を強化して、特産品販売などの場を増やすことが課題です。 【課題等への取組】 地元宿泊による合宿誘致、スポーツイベント時に産業振興課と連携し弁当の斡旋や 道の駅うすい、カッホー馬子屏等による特産品の物品販売を行いました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 スポーツイベントの開催や大会などの誘致を行うことによって、市民に「観る」スポーツの楽しさを提供し、スポーツへの関心、理解を深めスポーツに参加する契機となる役割を果たします。また、スポーツ施設を活用し、市内の宿泊施設と連携したスポーツ合宿を誘致することにより、地域に経済波及効果をもたらし、スポーツを通した地域づくり、地域の活性化が図られます。プロバスケットボール b j リーグ、フットサル女子九州リーグ、全日本少年(U-12)フットサル大会、アビ・ギラフットサルフェスティバル、陸上、サッカー、ハンドボール、バドミントンの合宿等を誘致した結果、誘致による交流人口は 8,736 人となり目標の 7,000 人を上回りました。						
今後の 方向性	スポーツ大会、合宿等を誘致し、市民のスポーツイベント時を活用した特産品販の創出を図ります。						
H28年度 の課題	大会開催時の宿泊施設、食事等の確保、特 と、大会実行委員会の活性化を図ることが必		。 等、関係機同	――― 関と連携し	た取組み		

『評価委員の意見』

- さらなる活性化を望みます。
- ・宿泊施設を含めて活性化を図ることが必要と思います。

教育委員会評価

事業名 (予算·決算)	[56] スポーツ環境創成事業 (スポーツ推進課:フ	プロジェク 予算: 1 2	-	、ポーツ推			
目 的	家庭や学校、自然の中など身近な場所で スポーツ環境であること」という意識改革			内のいたる	ところが		
事業内容	自然豊かで文化性に満ちた市内の環境を再発見するとともに、ジョギング、ウォーキングなどの手軽な運動に最適な運動環境を整備し、情報提供を行うことで市民の利用を促進します。 また、子どもの成長を促し心に刺激を与えるような環境づくりを目指し、全国でも例のないアイデアに満ちたスポーツ環境施設を創成します。						
H27年度 の課題と 取組	【課題等】 市内の社会体育施設や歴史・文化資産と地域の自然環境を有機的に結合することにより、新たなスポーツ環境を発掘することが必要です。 【課題等への取組】 社会体育施設や歴史・文化施設と地域の自然環境を有機的に結合したウォーキングコースを作成し、ウォーキングイベントを実施しました。						
	評価項目	А	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
	事業の効率性		0				
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 アンケート調査の結果から「スポーツをしていない」と回答した3割の市民の内、5割は「時間不足」、3割は「機会不足」と回答しています。また、社会体育施設の利用者の固定化を解消するためにも、身近な場所で簡単に行える運動の機会の提供は重要であり、必要性はA評価としています。27年度はウォーキングコースを2コース作成し、年に2回のイベントを実施しました。文化財係と連携を図り、文化資産の説明を交えたウォーキングイベントが実施できましたが、市民が気軽に継続してウォーキングができるよう対策が必要であり、事業の効果・効率性はBとしています。						
今後の 方向性	社会体育施設や歴史・文化資産と自然環 なスポーツ環境を発掘し、身近な場所で簡 引き続きウォーキングコースやジョギング の提供を行います。	単に行える	運動の機:	会を提供す	るため、		
H 2 8 年度 の課題	市民が気軽に継続してウォーキングがで 一スの増設を行い、情報提供の充実を図る			ング・ジョ	ギングコ		
『評価委員の ・ 休育施設	意見』 ウィーキングできるよう関放したらいか	ヽがで し ょ	うか				

教育委員会評価	В
---------	---

(2)スポーツ環境の整備

事業名	[57] 社会体育施設管理運営事業 (スポーツ推進課:施設管理運営係)						
(予算・決算)	(予算:160,373千円			建当床) 5,80 ⁻	7千円)		
目 的	市民のニーズに応じた、より快適なスポーいます。	ツ活動の均	易を提供す	ることを目	的として		
事業内容	スポーツ施設の効果的かつ効率的な管理選 整備などの検討を行い、適正化を図ります。		ミニーズに	対応する <i>た</i>	め施設の		
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 市民のニーズに応じた、より快適なスポーツ活動の場を提供することを目的とし、引き続き、老朽化した施設の管理について検討していきます。 【課題等への取組】 施設利用者の集計及び老朽化した施設の修繕を行うとともに、行政改革に基づく施設の統廃合により、稲築スポーツプラザ、稲築多目的運動広場について用途廃止を行いました。						
	評価項目	А	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 体育施設の管理・運営を行うことは、市民して、そして、スポーツによる多くの交流人業です。平成27年度体育施設の利用者数は上回りました。 課題である老朽化した施設の管理について動広場の2施設の用途廃止を行い、休止して予定しています。施設改修については、費用必要があります。また、懸案だったサルビアを実施いたしました。	ロを生み出 425,820 J には、稲築ス いる他のが が高額であ	出すものと 人と目標の スポーツプ 施設につい あることか	して必要性 398,000 人 ラザ、稲築 ても今後用 ら引き続き	の高い事 を大きく 多目的運 途廃止を 検討する		
今後の 方向性	既存施設の適切な補修・改修、効率的な選を行なえる場所や機会を提供するとともに、 す。						
H28年度 の課題	老朽化している施設について、施設の利用 修を行っていくことが課題です。	──── 引状況等を碁	— <u>—</u> 勘案しなが	ら効率的な	補修・改		
『評価委員の	音目						

・体育施設の水銀灯切れが長期間そのままのところがあります。

教育委員会評価

事業名 (予算·決算)	[58] プロジェクトK事業 (スポーツ推進課:プリ (予算:11,346				
目 的	乳幼児から高齢者、障がい者に至るすべての 基づいたコオーディネーショントレーニングを 発達だけでなく、知的能力の発達、情緒的な安 を目的とします。	導入する	ことにより	、体力・運	動能力の
事業内容	すべての市民に対応できるコオーディネー し、その普及を行います。	ショントレ	ノーニング (のプログラ	ムを構築
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 平成26年度におけるコオーディネーション立保育所全5ヵ所と私立保育園・幼稚園12園施しています。その他、高齢者介護課とスポーされた高齢者などにトレーニングを実施しているこどもクリニックも実施しました。 平成27年度は更なる普及のため、保育士や【課題等への取組】 ・シンポジウム助成金を活用し嘉麻市スポーツ・スポーツ振興くじ助成金を活用し指導者用D・保育士や教員などに対するコオーディネーシ	国中 9 園が、 - ツ推進課 ハます。また 教員など指 ハシンを パシンを パラ	児童は小 主催の運動 た、障者の育成 は基本を開催した。	学校 8 校中 教室におい のある子と	15校が実 いて、参加 さもに対す 必要です。
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
	事業の効率性	\circ			
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 本事業はコオーディネーショントレーニングを全ての市民に普及することにより人材育成、さらには地域の活性化に繋げる全国でも類を見ない取組みです。特に子どもに対する教育施策の充実は、過疎化が進む本市において、定住人口の増加を目指す上で最重要事項ですので、事業の必要性はA評価としています。 平成27年度は公立保育所全5ヵ所と私立・幼稚園12園中8園、小学校8校中7校が、その他高齢者介護課とスポーツ推進課主催の運動教室においても高齢者などに対してトレーニングを実施しました。指導者の育成と啓発については、研修会やシンポジウムに延べ約300人が参加し、さらに、指導者用DVDや家庭でできる乳児コオーディネーショントレーニングガイドブックを作成し、指導者の育成と普及啓発を進めました。したがって、事業の効果・効率性についてもA評価としています。				
今後の 方向性	平成27年度に引き続き指導者の育成・スキ校、中学校、高齢者、障がい者に対してコオー組みます。				
H 2 8 年度 の課題	平成28年度もコオーディネーショントレー員、障がい者施設、高齢者介護施設などが日常るよう、さらなる指導者の育成や啓発が必要で	の指導現場			

『評価委員の意見』

・高齢者にもPRして普及していただきたい。

教育委員会評価

事業名 (予算・決算)	[59] 競技スポーツ推進事業 (スポーツ推進課:プロ (予算:7,749					
目 的	誰もが、自らの目標に即してスポーツ競技力を伸ばそうとするスポーツ文化を広めるととも に、小・中・高校生からの優れた体力・運動能力、さらには運動学習能力、潜在的能力を豊かに 伸ばしていくことを目的とします。					
事業内容	 公的な各種スポーツ競技大会を開催します。また、子ども達を対象に、普段、経験したことのないスポーツ体験会を開催します。 スポーツに関心を寄せ、楽しさを見い出すトップアスリートとの交流会を開催します。子ども達のタレント発掘と競技力育成に関わる事業を展開し、全国や世界で活躍できるスポーツ選手の育成に取組みます。 スポーツ指導者、スポーツ推進委員、教員、保育士、一般市民を対象にした身近なスポーツ科学、運動科学、栄養学、コオーディネーショントレーニングなどに関する学習会、研修会を開催します。 					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 本市の競技スポーツの現状は、中学・高校の部活動のほか、嘉麻市体育協会に加盟する各種競技団体などがスポーツの振興と競技力の向上に取り組んでいます。少子高齢化やコミュニティの希薄化が進む中、競技人口の減少が問題となっています。平成27年度は、競技人口の増加を目指し、競技スポーツへの関心を高めることが必要です。 【課題等への取組】 競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催しました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	評価項目 事業の必要性	A	В	С	D	
	2101711		В	С	D	
	事業の必要性	0	В	С	D	
事務局自己評価	事業の必要性事業の効果	とは、多くの 多ポーツ かの界ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の市民に夢やいまして、 が振興に、 が成し、 会を育った。 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	感動、誇りるこれを取るでは、ないでは、ないでは、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、ないで	と勇気を与えを 観みですの 一のる京トックを はいりでする でする でする と の は が は い り の り り の り り の り の り の り の り の り の り	
自己評価	事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 本市出身の市民が全国などの舞台で活躍することであれます。同時に、スポーツを行う人々が、自らであることは、スポーツを行う人々が、自らであることは、スポーツ文化を広め豊かなコミュで、事業の必要性はA評価としています。 平成27年度は、プロバスケットボールの橋本、ほか、県事業ふくおか夢体験事業を活用した元ソスを開催し、約200人の小中学生が参加しました。ダリストの朝原氏の講演会及び陸上教室を開催し、リートの技術や経験を目の当たりにすることができまります。 平成27年度に引き続き、競技人口の増加を目標である。	とは、スポーツ とは、スポーツ とは、スポーツ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の市民に夢やいました。 が振興の発生によるの。 はし、会を含いまた。 は、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	感に工む ス原ウしを かまない ボース のいまれる かんしょう かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいがい かいがい	ともて組 一る京トともて組 かな 教球輪プで 室教銅アき	
自己評価	事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 本市出身の市民が全国などの舞台で活躍すること え、市民のスポーツへの関心や参加意欲を促し、でいます。同時に、スポーツを行う人々が、自らの高めることは、スポーツ文化を広め豊かなコミュで、事業の必要性はA評価としています。 平成27年度は、プロバスケットボールの橋本、ほか、県事業ふくおか夢体験事業を活用した元ソラを開催し、約200人の小中学生が参加しました。ダリストの朝原氏の講演会及び陸上教室を開催し、リートの技術や経験を目の当たりにすることができています。	とは、スポート は、スポート は、スポート ないがって、 は、スポート は、スペート は、スペート は、カート は、	の市民に夢やいと が扱い社会 はこれの はいと はこれの はこれの はこれの はこれの はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが はこれが	感に工む ス原ウしを の	ともて組 一る京トと 加 の室メスま 高	

『評価委員の意見』

- ・人格形成の基本においてスポーツマンシップを育成し、さらに技術の向上に努めることを期待します。
- ・トップアスリートによるスポーツ教室に参加した人から、とても良かったと聞きました。

教育委員会評価

(1) 学校教育における人権・同和教育の推進及び支援

	- (1) 子仪教目にの!	ノのノバ性	IPJ/TD/FX				
事業名 (予算·決算)	[60] 人権・同和教育推進事業 ((予算:個別			孫 • 指導 :個別予算			
目的	福岡県人権教育・啓発基本指針及び嘉麻市人権教育・啓発基本指針に基づき、学校教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけることができるよう指導していきます。						
事業内容	学校における人権教育の指導の充実を	図ります。					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 人権課題の解決に向け、児童生徒が自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な行動をとることができるよう、組織的・継続的な人権教育の推進体制を確立する必要があります。 【課題等への取組】 児童生徒の実態を把握し、全教職員の共通理解に基づいて、共通実践を進めていくとともに、教職員の意識の変容を図る取組みを推進しました。 また、児童生徒が自らの問題として捉えることができるように、参加体験型の学習方法を推奨してきました。さらに、家庭・地域・関係機関等との連携を図るよう指導しました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
	事業の効率性		0				
事務局 自己評価 市内全教職員による人権・同和教育研修会を実施し、現在の子どもたちを取り 巻く状況についての学習を行いました。 また、教育活動全体を通じて、人権感覚の定着の取組みを行う意識も高まり、 様々な状況下で、児童生徒が自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な 行動が多く見られるようになりました。					高まり、		
今後の 方向性	人権課題の解決に向け、児童生徒が自分で「感じ、考え、行動する」主体的・ 実践的な行動をとることができるよう、人権教育の推進を図っていく必要があり ます。そのためにも、学校全体の組織的な体制づくりが必要です。						
H28年度 の課題	各学校においても、人権感覚を身に付けさせる取組みを推進していきますが、						
『評価委員の	意見』						

・子どもとともに、保護者への啓発もお願いします。

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

	(_ / 仏太叙月におり	ころうく作	IPJ/TI/TX I	ヨッカ田に	又以又返		
事業名 (予算·決算)	[61] 人権学習推進事業 (生涯学習 (予算: 2, 52			育係) 2, 5 1	6千円)		
目 的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、 >感染者、性的少数者等に対する人権課題を 麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、社会 するとともに、市内の各種団体等の協力を得 サークル等研修会、企業内人権・同和問題の 及び地域活動指導員(人権・同和教育指導員 権に関する学習を推進します。	を解決し、 教育におり けながら、1 所修会を実施	人権尊重社 ける人権・ 行政区単位 施します。	会の実現に 同和教育を 地域研修会 また、関係	こ向け、嘉 一層推進 会、団体・ 経行政機関		
事業内容	嘉麻市の人権・同和教育の推進を図るため、市内各行政区をはじめ、団体・サークル等、企業や市職員の人権・同和問題研修会の開催を推進し、人権・同和問題に関する意識の向上を図っています。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 関係各課と連携し、研修会を実施したことがない地域・企業・団体等への継続した 働きかけが必要です。 【課題等への取組】 市主催の事業主研修会を開催し、研修会の自主開催が難しい事業所に対しても研修 の機会を提供するとともに、行政区長会においては行政区での人権研修会開催を引き 続き依頼しました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
	事業の効率性		\circ				
事務局自己評価の根拠】 人権教育・啓発については、行政が取り組む人権施策の普及はもちろんのこと、民の理解と協力を得ることが大切です。そのため、市民一人ひとりが、人権問題にいての正しい認識と理解を深め、「差別をしない」から「差別をさせない」へと、民の意識が日常生活の行動等に確実に根付くよう啓発を推進し、人権意識の向上にめています。事業主研修会では、福岡県の講師団講師による講演会を開催したとこれ 100名の参加があり人権意識の向上に繋げることができました。また、地域・企業団体・サークル等での個別的な研修会を数多く開催し、市民の人権意識の向上を図ました。行政区や各種団体等での研修会の実施回数は、平成26年度19回から平							
今後の 方向性	27年度21回に増加しました。 一人ひとりが同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい認識と理解を深め、自らの問題として捉えることのできる視点を持ち、行動するための気づきに繋がるよう、地域・企業・団体・サークル等個別的な研修会を開催することにより、人権教育・人権啓発の推進を図ります。						
H28年度 の課題	研修会は行政区や各種団体等の希望によりまた固定化している状況であり、継続して研				が少なく、		
『評価委員の	意見』						

『評価委員の意見』

- ・各団体の代表者等に開催を要請してはどうでしょうか。まず、開催することが有効です。
- ・市の委員会、協議会等で人権学習を実施してはどうでしょうか。

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

	(と) 社会教育におり	アの八個	IFJ/TITAL I	サップにたん	X U X JX		
事業名	[62]解放子ども会育成事業 (生涯:	学習課:	人権・同	和教育係)		
(予算・決算)	(予算:6,66;	3千円	決算:	5, 75	3千円)		
目的	解放子ども会を開催し、解放子ども会に参加する一人ひとりが、人権問題について正しい認識と理解を深める活動を推進します。また、学校教育や社会教育との連携や交流を促進し、情報の共有を図ります。合宿研修会の開催により、小中学生が寝食、学習、野外体験活動を共にすることで、連携や交流を促進します。						
事業内容	稲築・碓井地区において解放子ども会を開催し、人権・同和問題についての学習を行うとともに、嘉麻市解放子ども会として合宿研修会や発表会等に取組んでいます。 (1)解放子ども会の開催(開講式を含む。) (2)解放子ども会合宿研修会の開催 (3)解放子ども会社会見学会の開催 (4)解放子ども会フィールドワークの開催 (5)解放子ども会発表会の開催						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 解放子ども会に参加する児童生徒を増やす取組みは、継続して行う必要があります。 【課題等への取組】 解放子ども会指導者連絡協議会等で、参加者を増やすための取組み等を協議しました。 個人情報の関係もあり、新規参加者の把握が厳しい状況の中で、地区指導者や参加している児童生徒の保護者から、解放子ども会のお知らせと参加の声かけ等を行いました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性		0				
【自己評価の根拠】							
今後の 方向性	総括を行いながら、次年度の学習に繋げる振り返りの場としています。 解放子ども会を開催し、人権学習等を行うことにより、一人ひとりが人権問題について正しい認識と理解を深め、差別を見抜き、差別に立ち向かえる子どもの育成を図ります。また、解放子ども会の卒業生が活動をサポートするなど、地域と一体となった活動を行い、地域・家庭との連携を図ります。						
H28年度 の課題	解放子ども会に参加する児童生徒を増やす耳	Q組みは、A	継続して行	う必要があ	ります。		

『評価委員の意見』

- ・事業継続をお願いします。
- ・活動をサポートする卒業生も少しずつではありますが育っています。
- ・人権問題に立ち向かっていける子どもたちを育てていくためにも、とても大事な事業だと思います。

教育委員会評価 A

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

	(乙) 江云扒月	1-0017 位771座	IN THAT F		~ U				
事業名 (予算・決算)	[63] 解放学級育成事業 (生涯 (予算: 1,	学習課:人権 367千円			2 千円)				
目 的	学級を開催し、解放学級生及び識字学	解放学級及び日常生活で文字の読み書きに不自由している人々を対象にした識字学級を開催し、解放学級生及び識字学級生一人ひとりが、人権問題について更なる正しい認識と理解を深める事業を推進します。							
事業内容	福築・碓井・嘉穂地区において、解放学級を開催し、人権・同和問題についての学習を行うとともに、碓井地区においては、識字学級を開催することにより文字の読み書き学習を支援しています。 (1)解放学級等合同開講式の開催 (2)解放学級・識字学級の開催 (3)解放学級等合同学習会の開催								
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 解放学級は参加者の高齢化と固定化により、また識字学級は在日外国人の参加が多くなっていることにより、運営方法等の検討が必要です。 【課題等への取組】 の課題と 解放学級では、学級生から新たに参加を呼びかけましたが、参加者は小ない状況で								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
	事業の効率性		0						
事務局自己評価 【自己評価の根拠】 解放学級 8 学級及び識字学級を開催することで、学級生一人ひとりが、人権限について更なる正しい認識と理解を、より深めることができました。さらに、地域民・団体との交流会を開催することで、お互いの理解と心の繋がりを深め、思いての心等を養うことができ事業効果も高いと思われます。若年層への参加を呼びかけしたが、参加者が少ない状況であり、今後も呼びかけを続けていきます。また、設学級については、グループ分けにより、それぞれのグループのニーズに合わせた党を行うことができるようになりました。									
今後の 方向性	人権問題について、更なる正しい認認る様々な差別の解消に向けて、地域住民 てサポートするとともに、識字学級の関	民の自主的・主体	的な学習	舌動を学校	と協力し				
H28年度 の課題									
『評価委員の	意見』 を希望します。 								
	教育委員会評価		В						

(1)美術に関する創造的活動の推進

		- 344 777 777	46 2 hr A-L h-	- \		
事業名 (予算・決算)	[64] 文化芸術活動推進事業 (生涯					
(『并「八 并)	(予算:個別予	算なし	決算:	個別予算	算なし)	
目 的	市民が美術館を身近なものに感じ、美術館展示発表に活用できる場の充実を図ります。		術を鑑賞	・創作する	機会及び	
事業内容	美術団体など主体的な活動を行う団体と連携協力を図り、市の文化団体などの展示活動への協力、支援を行います。 また、サークル等のアトリエでの創作活動を支援するとともに、子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供します。					
H 2 7 年度	【課題等】 学校が鑑賞での活用を計画できるように、 図るとともに、来館が難しい学校についてに する必要があります。					
の課題と取組	の課題と 取組 学校が鑑賞での活用を計画できるように、美術館の利用の仕方を記載したチラ を作成し、校長会で説明を行いました。 オダビエンナーレ2015の関連事業として、市内小学校(計3回4クラス) 出前授業を行いました。					
	評価項目	А	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		\bigcirc			
	事業の効率性		0			
事務局自己評価					用があり イスを行	
今後の 方向性	今後も主体的、自主的に文化芸術活動を行 ちの芸術鑑賞の機会の充実を図ります。	行うサーク	ルや団体を	を支援し、	子どもた	
H 2 8 年度 の課題	子どもたちが感性を磨き、考える力、表 美術館と学校等との双方向の交流(鑑賞なる 化する必要があります。					
『評価委員の ・評価委員	意見』 の意見はありませんでした。					

教育委員会評価

В

(1)美術に関する創造的活動の推進

事業名 (予算·決算)	[65] 美術館運営管理事業 (生涯 (予算:33,707 ⁻		美術館係) 決算:3		6千円)		
目 的	市民が文化芸術活動や憩いの場として、美術館及び公園を快適かつ安心して利活用できるよう、施設等の維持管理及び運営を行うとともに、美術館並びに実施事業の周知を図ります。						
事業内容	美術館及び公園の維持管理を図るとともに、適切な環境の中で収蔵、展示作品の 保存管理を行います。						
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 経年劣化に伴う建物及び設備の修理が予 犬の散歩など、公園利用者のマナーについ 【課題等への取組】 空調設備の操作基板の取替えや施設機器 収蔵庫2の燻蒸により、適切な環境で作	いて注意喚 ∳の修理を	起をする必 行いました	要がありま 。			
	評価項目	А	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果	0					
	事業の効率性	0					
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 空調設備の年次計画による修理や避難誘導灯、避難誘導表示板の取替などを行うことにより、美術館を快適かつ安全に利活用できるように維持管理を行いました。 公園では、遠足や家族等での利用をはじめワークショップの実施や美術館講座でも活用ができました。 ホームページや広報、SNSなどでいち早く情報提供ができました。 筑豊美術館ネットワークで連携して、事業を実施することができました。						
今後の 方向性	美術館及び公園を快適かつ安心して利用 に努めるとともに、利用者の利便性を図り		う、継続し [・]	て施設等の	維持管理		
H28年度 の課題	経年劣化による建物及び設備の修理等か ります。	、予想され	れるため計	画的に行う	必要があ		

『評価委員の意見』

- ・多くの方に来ていただくよう、維持管理に努めてください。
- ・美術館への案内方法について検討下さい。

教	苔	盉	昌	<u></u>	重亚.	佃
÷×	\blacksquare	\overline{z}		$7\overline{}$	пΤ	ш

事業名 (予算·決算)	[66] 企画展事業	(生涯学習 〔予算: 8,				8, 53	4 千円)
目 的	著名な作家や郷土ゆ!			-			機会を提
事業内容	館蔵品展、郷土作家原育のコレクション原作をのコレクション原作といるのための見りでは、「オダビエンナーレスであり、「第71回福岡県美術「織田廣喜とふるさんでありません」	展2015」 虫展」 2015」 が展覧会筑豊/ との二科展」	展」	4月1日 7月11日 9月12日 11月17日 12月12日	1 ~ 4月 1 ~ 8月 1 ~ 10月 1 ~ 12月 1 ~ 1月	19日 (17 30日 (43	日間) 日間) 日間) 日間)
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 織田廣喜や郷土の作家 【課題等への取組】 織田廣喜の所属したこ に所属した作家の作品を	二科会の10	0周年	を記念し、	会の歴史	と嘉飯地域	
	評価項目			A	В	С	D
	事業の必要性			0			
	事業の効果			0			
	事業の効率性			0			
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 こどものための昆虫展は、当館において、はじめての自然史系展示で、昆虫の生態や形態が観察できる展示としたことで、夏休みの自由研究の一助となりました。 オダビエンナーレ 2015 では、オランダを拠点として活動する美術家ユニット、 The Future が選考した 7 名の作家が千手小に滞在し、地域と交流(英会話教室や異文化交流会など)しながら制作活動を行い、その活動により制作された作品や資料を展示しました。また、国内外の作家が閉校した小学校に滞在し、創作活動を行うという話題性からメディアなどに紹介される機会が多く、千手をはじめ嘉麻市の魅力を美術の視点から発信できました。						
今後の 方向性	織田廣喜や郷土の作家 す。	家の調査、研	究を継	続的に行い	ハ、地域文	化の向上を	目指しま
H28年度 の課題	高齢化が進む嘉飯桂が、飯塚都市圏のギャラのリサーチが行いにく	ラリーなどの「	閉鎖に				
『評価委員の	意見』						

・多くの展覧会、発表会、子どもの作品展等開催してください。

教育委員会評価

(1)美術に関する創造的活動の推進

事業名		課:美術	館係)			
(予算・決算)	(予算:	563千月	円 決算	算:504	4 千円)	
	楽しみながら創作活動を行う機会や場の	提供を行い	· . 芸術への	の興味を深	め豊かな	
目 的	- │感性と表現力を育むことにより、美術教育(の充実を図	るとともに	こ、子ども	たちの美	
	術活動の充実と、美術館の活動に関わる美術	ಠポラン	ティアの人	、材育成を	図ります。	
	①年2回のボランティア会議と小学生対象	の講座で、	講師の補助	りや事業の	サポート	
	を行いました。					
	②5講座を開設しました。(大人:2講座、	子ども:3	3講座)			
	・日本画教室 16回 1	8歳以上	受請	構者 10	名	
事業内容 事業内容		学生以上		構者 15	名	
テスパロ		学生以上		構者 27	• •	
			年生 受調		• •	
		学生		構者 66	名	
	・わくわくアトリエクラブ 2回 4;	歳児~小学	生とその供		_	
	F-m 07 44 3		受講	者 29	<u> </u>	
	【課題等】	- 1 4 1° -		####	1 16	
	継続して活動するボランティアに加え、新					
H 2 7 年度	より充実した美術教育普及となるよう、講座の開催日や運営方法について検討する必					
の課題と	要があります。 					
取組	【課題等への取組】					
	ボランティアは、広報活動により、5名の新規の登録がありました。					
	短期講座では、開催日程を複数設定し、参加者が参加日程を選択できるようにし、					
	また、受講生同士が情報交換しながら作業で	できるよう	に工夫しま	した。		
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
事務局	事業の効率性	\circ				
自己評価	【自己評価の根拠】					
	ボランティアが小学生対象の講座に講師補助として参加することで、コラージュ					
	の技法など新たな表現方法を学ぶことができました。					
	成果発表の場を設けることにより、事業のアピールができました。また、作品展					
	の開催は、受講生の技術、学習意欲の向上に	こ役立ちま	した。			
今後の 方向性	様々な分野の芸術を体験する機会を提供し、創作活動を行う中で芸術への興味を					
	深め、豊かな感性と表現力を磨き心豊かな人材を育みます。また、ボランティアの					
	活動内容の明確化とボランティア相互の連打					
H 2 8 年度 の課題	自宅で課題ができない受講生ややむを得			• • •		
	放するなど充実した講座内容となるよう、	講座開設方	法について	て検討する	必要があ	
- 4/11	ります					
『評価系昌の	·					

『評価委員の意見』

・評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価

			* 1 = 7 1 7 1 1 1	1 1 1	1,1,1,1	
事業名 (予算·決算)	[68] 文化財保護事業 (生涯学習課: (予算:8,067			7, 802	2千円)	
目 的	地域の「たから」として、後世に伝え、適気 様な文化財の保護に努めます。	刃な活用か	「図れるよう	うに、市内	に残る多	
事業内容	 ・指定文化財の維持管理および補助金交付 ・寒北斗酒造の国登録有形文化財への登録事務の支援 ・埋蔵文化財の事前審査 ・文化財保護審議会の開催 ・埋蔵文化財出土品の再整理 					
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 地域、市民の「たから」として後世に受け継がれるよう、継続して指定文化財の保護、継承と活用を図るとともに、市内に残る多様な文化財の保護に努めます。 【課題等への取組】 ・指定文化財の維持管理や補助金交付を継続し、文化財の保護に努めました。 ・県と連絡を取り合い、寒北斗酒造の国登録有形文化財への登録事務を支援しました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	\circ				
	事業の効率性	0				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 ・山野の石像群への階段に手摺を設置し、見学者の安全性と利便性に配慮しました。 ・三郎丸の大クスの樹木治療を行い、樹木の活性化に努めました。 ・寒北斗酒造の店舗兼主屋と安政の蔵、仕込蔵が国の登録原簿に登録されました。 ・埋蔵文化財に対する103件の事前審査(現地立会2件、試掘1件)を、円滑に処理することができました。 ・審議会を3回開催し、文化財や施設の活用などについて適切な意見をいただきました。 ・国庫補助を受け、嘉穂地区遺跡の出土品の再整理と写真や図面のデジタル化を行い、出土品の把握と写真や図面の保存ができました。また、沖出古墳の埴輪の実測、調査を行いました。					
今後の 方向性	継続して、文化財の維持管理と保護に努めます。					
H28年度 の課題	活用ができるように、継続して文化財の維持管理と保護に努めます。					
『評価委員の意見』						

・評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価

(2) 文化財の保護・継承・活用

		(= / /	人口別のた	个		
事業名 (予算·決算)	[69] 歴史民俗教育普及事業 (生涯) (予算:2,49				3 千円)	
目 的	郷土の文化財の活用を図るとともに、郷土への誇りと愛着を培います。また郷土の 歴史、文化を対外的にPRし、まちづくりに貢献します。					
事業内容	・沖出古墳の同時公開(春・秋) 4月18日・19日、10月17日・18日 ・ツナギトメル「消えゆく戦争の記憶」展 8月1日~9月6日(31日間) ・語り、伝える 戦争の話 8月1日 ・歴史講演会「筑豊のお菓子と長崎街道」 11月21日 ・朗読、音楽劇「青い目の人形によせて」 12月4日 ・団体、学校などへの学習支援 4月~3月					
H 2 7 年度 の課題と 取組	課題と 郷土の歴史や文化を対外的にもPRし、まちづくりを支援します。					
	評価項目	А	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 ・沖出古墳の公開には302名(市外205名)が訪れました。 ・戦後70年目の節目として展示を見直し「消えゆく戦争の記憶」展を開催したが来館者は486名(市外321名)でした。「戦争の話」には、38名(市外18名)が参加しました。 ・歴史講演会は筑豊のお菓子をテーマとしたが、参加者は少なく18名でした。 ・ 性隈小学校で開催した「青い目の人形によせて」は、5年生が朗読、3・4年生が歌唱を担当し、1・2・6年生や教職員と保護者等36名に平和の大切さを考える機会を提供しました。糸島市可也小学校の「ルース」との対面は新たな感動を与えました。・新採職員研修と市の文化財(歴史)学習とフィールドワークを支援するなど年20件、学習支援を行いました。					
今後の 方向性	今後も継続して、教育普及事業を行います。					
H 2 8 年度 の課題	歴史講演会の開催時期や内容を検討します。 朗読・音楽劇「青い目の人形によせて」の開催について検討します。					

『評価委員の意見』

- ・講演会、発表会、見学会等で嘉麻市の文化財を市民に広く紹介してください。
- ・平和祈念館と美術館と連携してPRしてほしいです。
- ・事業に参加しやすい日時の設定をお願いします。

教育委員会評価

声 米 刀	[70] 歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業				
事業名 (予算·決算)		(生	上涯学習譚	果: 文化則	才係)
() # //#/	(予算:9,82	9千円	決算:	9,593	3 千円)
目 的	資料の保管方法や施設の見直しを図るとと に努めます。また、効率性の高い施設運営と				
事業内容	・安心して施設の見学、活用ができるように維持管理を行います。 ・収蔵資料の整理(データ化)に努めます。 ・収蔵資料貸出、写真画像データの提供などを行います。				
H 2 7 年度 の課題と 取組	【課題等】 施設の効率的な運営と活用ができるように、資料の保管方法や施設について検討し、郷土の歴史・文化のPRに貢献します。また、収蔵資料の整理と台帳整備(データ化)と管理に努めます。 【課題等への取組】 ・オレンジサロンとしての嘉穂ふるさと交流館の活用をしました。 ・PR係と連携し、郷土の歴史・文化のPRに努めました。 ・確井郷土館、平和祈念館の収蔵資料の整理(データ化)を継続しました。 ・嘉穂ふるさと資料館の利活用の見直しを行いました。				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	\circ			
	事業の効果	\circ			
	事業の効率性		0		
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 ・碓井郷土館(平和祈念館)収蔵資料など合わせて約800点の整理を行いました。 ・新たに寒北斗酒造から関係資料の寄贈を受けました。 ・13件の資料の貸出と12件の画像データの提供を行いました。 ・稲築文化ふれあい伝承館、嘉穂ふるさと交流館、碓井郷土館、平和祈念館を合わせて6,957名の見学者・利用者があった。(碓井郷土館、平和祈念館4,893名)・戦後70年の節目とし、平和祈念館の展示全体の見直しを行い、新たな資料も加え、企画展とした。 ・嘉穂ふるさと交流館は嘉穂地区公民館大隈分館として活用されていますが、10月から大隈地区のオレンジサロン(高齢者の憩いの場)として活用されています				
今後の 方向性	施設の見直しを検討するとともに、施設の維持管理を継続し、活用を図ります。 収蔵資料の整理(データ化)を継続します。				
H 2 8 年度 の課題	施設の見直し(嘉穂ふるさと交流館)について、検討します。				
『評価委員の音見』					

・より良い保管管理を希望します。

教育委員会評価

5. 全体評価結果

(1) 全体評価結果

全体評価結果については、事務局の自己評価と評価委員の意見をふまえた教育委員会 の評価結果は下記のとおりとなりました。(全70事業)

	前年度教育委員会評価		教育委員会評価
A:期待通り	35事業 (53.0%)	#	42事業 (60.0%)
B:概ね期待通り	3 1 事業 (47.0%)	#	28事業(40.0%)
C:課題あり	0事業(0.0%)	⇒	O事業 (0.0%)
D:事業の見直し要	0事業(0.0%)	⇒	O事業(0.0%)

評価の方法は、昨年度と同様に事業完了度ではなく、目標達成度及び第三者評価の観点から総合的に評価を行いました。また、今後の方向性及び平成28年度の課題につきましても併せて検討いただきました。

前年度評価と比べますと、「A評価」が53.0%から60.0%(7.0ポイント増)へ、概ね期待通りの「B評価」が47.0%から40.0%(7.0ポイント減)へ、課題ありの「C評価」及び事業の見直し要の「D評価」の事業は、昨年同様に0%で、全体の評価傾向としては、向上傾向にあります。

これは、各事業の課題等を充分に考慮し、目標達成に向けて取組んだ結果であると思料します。

(2) 重要課題ごとの評価及び課題

〇 重要課題 1 「少人数指導等による学力向上」

児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行う「少人数指導推進事業」の取組みにより、小学校においては、NRT学カテストにおける平均偏差値は、平成26年度と比較し、0.1ポイント下がりましたが、3年連続全国平均偏差値50ポイントを超えました。

全国学力・学習状況調査においては、全国平均正答率を上回る学校は、小学校で3校、中学校では1校あり、前年度と同数でありましたが一定の成果をあげることができました。さらには、小学校では、平成27年度は全体平均として、全国平均にほぼ到達しています。このことから、今後は小学校の学習定着状況が中学校へと反映していくと考えられます。

また、「嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業」においては、学力向上推進員の学校への指導及び支援体制を継続するとともに、嘉麻市土曜未来塾での学力の基礎、基本の定着、家庭学習の習慣化を図ります。

今後も引き続き、学力検査等の結果を詳細に分析し、さらなる学力向上の取組みを推進していきます。

○ 重要課題2「個性又は能力を育成する学校教育の充実」

「特別支援教育総合推進事業」や「補助教員配置事業」については、個別に支援を要する児童生徒は増加傾向にあるものの、適切な人的配置を基に、支援が図られています。

「情報教育推進事業」については、ICTを活用した授業改善や増加するネット犯罪等から児童生徒を守るためにインターネットやLINEなどのSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の適切な利用方法の指導を今後も充実する必要があります。

また、「大規模改造工事事業」では、山田中学校の校舎及び体育館の大規模改造工事を実施している状況です。今後も、市内学校の校舎等の施設を改修することによって、安全性、耐久性を向上し、児童生徒が安心・安全な環境において生活(学習)ができるよう改造工事を実施していきます。

○ 重要課題3「豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進」 不登校問題等の解決の取組みとして、「教育相談推進事業」や「学校支援相談員配置 事業」を実施し、不登校傾向の児童生徒に対する早期対応や不登校の解消、改善に積極 的に取組み、不登校児童生徒数は大幅に減少傾向にあります。今後もこの事業を継続し て実施し、不登校問題の解消に努める必要があります。

「適応指導教室(れすとぴあ)推進事業」では、通級生徒全員が学校への復帰はできなかったものの、中学3年生の通級生徒は全員、高校(通信制含む)へ進学できました。このことからも、不登校児童生徒にとっては、必要な事業であり、今後も継続して事業を実施する必要があります。

家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実については、学校・家庭・地域が連携協力し、情報交換や情報を共有することで、子どもの健全育成が図られるよう支援をしていく必要があるとともに、教育センターや少年相談センターと連携・協力しながら、青少年の非行防止に努めていきます。

また、「家庭教育支援事業」を継続することにより、家庭の結びつきや、地域との結びつきを強め、教育力の向上に努めます。

男女共同参画教育の推進については、啓発・学習機会の提供に努める必要があります。

○ 重要課題4「生涯学習の実現を目指す社会教育の推進」

「生涯学習推進事業及び社会教育関係団体等事業」については、社会教育関係団体の 育成・支援はもとより、青少年の体験活動の充実強化に努めるとともに、ボランティア 人材バンクの活用について、再度検討する必要があります。

「公民館事業」については、嘉麻市公民館基本計画策定に着手し、今後の公民館の方向性を明確にした上で、あらゆる部分での組織体系の見直しに着手していく必要があります。

一方で、平成28年度から4地区公民館事業の均等化を図るために、まずは「ときめき☆学習」を稲築、碓井、山田地区公民館において開催することを目指していきます。この事業をきっかけとして地域の協力者や後継者を見出し、地域力の向上を図っていきます。さらには、地域住民との連携を深め、公民館活動の活性化を図ってまいります。

また、「図書館施設管理運営事業」にあっては、読書活動の推進を図るために、学校 や保育所で図書館の本に親しむ環境を提供することができる、移動図書館車の更なる活 用を検討する必要があります。

〇 重要課題5「体力及び運動能力向上の推進」

コオーディネーショントレーニングをすべての市民に普及することにより、人材育成、地域の活性化、さらには定住人口の増加を目指す「プロジェクトK事業」では、公立保育所5カ所と私立保育園・幼稚園 12 園中 8 園、小学校 8 校中 7 校がトレーニングを導入し、高齢者等に対する運動教室や障がい児に対するこどもクリニックを含め着実に広がりを見せています。今後も、保育士や教員が日常の指導現場でコオーディネーショントレーニングを実施できるよう指導者の育成を進めながら、乳幼児や小学生への拡充を図るとともに、中学校や高等学校、高齢者や障がい者に対するトレーニングの普及に向けた啓発にも取組みます。

また、スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の増加と地域の活性化を目指す「スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業」では、交流人口が目標の 7,000 人を大きく超え 8,736 人となりました。今後も施設の維持改善を図りながら有効活用を促進し、交流人口の増加を目指します。

○ 重要課題6「人権尊重精神を育成する教育の推進」

市民一人ひとりが、人権問題について正しい認識と理解を深め、日常生活の行動等に確実に根付くよう人権教育・人権啓発を推進し、市民の人権意識向上に努めました。「人権学習推進事業」においては、行政区や各種団体等での研修会の実施回数が平成 26 年度の19回から21回に増加しました。

引き続き、人権教育・人権啓発事業を実施し、市民の人権意識の高揚を図ります。

〇 重要課題7「市民文化の創造」

美術館事業の「文化芸術活動推進事業」においては、市文化協会等の関係団体と連携し、美術館アトリエでの自主的、主体的創作活動(サークル活動)を支援するとともに、学校等と連携して、子どもたちが感性を磨き、考える力、表現力などを学ぶ美術館での芸術鑑賞の支援等の充実を図りました。「美術館運営管理事業」においては、美術館を訪れる人が、快適な環境で安心して、憩いの場として利活用できるよう施設等の維持管理に努めました。

文化財事業については、山野の石像群への階段手摺設置、三郎丸の大クスの治療、嘉穂地区遺跡群の出土品の再整理や図面等のデジタル化を行うことができました。また、戦後70年の節目にあたり、平和祈念館の展示の見直しを行いました。引き続き、文化財の維持管理と活用および点在する資料の保管方法が課題です。

また、美術館、平和祈念館等、施設のPRも行っていきます。

(3) おわりに

今年度から点検・評価の対象となる事業は「第3次嘉麻市教育アクションプラン(平成27年度~平成29年度)」となります。各事業では、具体的な目標と、それに対応した行動計画を策定しており、計画的かつ効率的に諸施策を実施しています。

今回、市民の点検評価委員のみなさまからは評価に対する指摘、改善策等の意見を頂きました。これらの貴重な意見を各事業に活用し、今後の嘉麻市教育行政の発展に役立てていきたいと思います。

最後に、点検評価に参加・ご尽力くださいました委員の皆様に心よりお礼を申し上げ、 点検・評価報告書のまとめとさせていただきます。 《資料》

嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

[平成21年嘉麻市教育委員会要綱第6号]

[平成23年嘉麻市教育委員会要綱第4号]

[平成24年嘉麻市教育委員会要綱第4号]

[平成26年嘉麻市教育委員会要綱第4号]

[平成26年嘉麻市教育委員会要綱第6号]

[平成27年嘉麻市教育委員会要綱第5号]

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31年法律第162号)第26条及び嘉麻市教育基本条例(平成22 年嘉麻市条例第16号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づ き、嘉麻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が実施する事 務の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検評価事項)

- 第2条 教育委員会は、前年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、次に掲げる事項の点検及び評価(以下「点検評価」という。)を行う。
 - (1) 教育委員会の会議の実施状況等に関すること。
 - (2) 教育委員会の主要な施策に関する執行の状況及びその成果に 関すること。

(点検評価の方法)

- 第3条 教育委員会は、点検評価を実施するに当たり、別に定める評価表により教育委員会事務局において、その所管する事務事業等の自己 評価を行わせるものとする。
- 2 教育委員会は、前項の自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員(以下「評価委員」という。)
 を設置する。
- 3 教育委員会は、評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価を行う。

(評価委員)

第4条 評価委員は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 嘉麻市議会議員
- (2) 嘉麻市PTA連合会委員
- (3) 嘉麻市社会教育委員
- (4) 嘉麻市公民館運営審議会委員
- (5) 嘉麻市立図書館協議会委員
- (6) 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員
- (7) 嘉麻市スポーツ推進委員
- (8) 嘉麻市文化財保護審議会委員
- (9) その他教育委員会が適当と認める者

(公表の方法)

- 第5条 教育委員会は、条例第7条の規定により点検評価の結果に関する報告書は次に掲げる方法で公表する。
 - (1) 嘉麻市公式ホームページに掲載
 - (2) 報道機関に提供
 - (3) 教育委員会での閲覧

(庶務)

- 第6条 点検評価の実施に関する庶務は、学校教育課において処理する。 (その他)
- 第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から適用する。

平成28年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿 (評価対象年度・・・平成27年度)

(敬称略)

			(11,11,11)
	団体名	氏 名	備考
1	嘉麻市議会	岩永 利勝	
2	嘉麻市PTA連合会	松岡 広樹	
3	嘉麻市社会教育委員の会	井上 友征	
4	嘉麻市公民館運営審議会	豊田 一元	
5	嘉麻市立図書館協議会	田中 早苗	
6	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会	梅野 巖夫	
7	嘉麻市スポーツ推進委員	山方 国和	
8	嘉麻市文化財保護審議会	石井 春美	
9	その他教育委員会が適当と認める者	大屋 信一	

嘉麻市教育委員会点検·評価報告書 (平成27年度事業分)

発 行 嘉麻市教育委員会 学校教育課

〒820-0392 福岡県嘉麻市大隈町733番地

TEL 0948-57-3198

発行年月 平成28年8月